

# 2

# 運転する前に

## 各部の開閉

キー	2-2
キーレスアクセスによる施錠・解錠	2-8
電波式リモコンドアロックによる施錠・解錠	2-16
ドア	2-20
チャイルドブローフ	2-24
パワーウィンドウ	2-25
フューエルリッド（燃料補給口）	2-29
ボンネット	2-31
トランク（4ドア）	2-33
リヤゲート（5ドア）	2-35

## セキュリティシステム

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）	2-37
盗難警報装置	2-39

## シート

正しい運転（乗車）姿勢	2-45
フロントシート	2-47
リヤシート	2-54

## シートベルト

シートベルトの正しい着用	2-58
フロントシートベルト	2-61
リヤシートベルト	2-63
シートベルト警報	2-67

## お子さまの安全

チャイルドシート	2-69
ISO FIX固定バー方式で固定するチャイルドシートについて	2-72
シートベルトで固定するチャイルドシートについて	2-81

## ハンドルとミラーの調整

チルト/テレスコピックステアリング	2-85
ルームミラー	2-85
ドアミラー	2-86

# 各部の開閉

## キー

キーはドアの施錠、解錠、エンジンの始動、停止に使用します。



### アドバイス

- キーナンバープレートは、車両修理や合いかぎを作る際に必要となりますので、大切に保管してください。キーを作るときは、スバル販売店にご相談ください。
- 盗難防止のため、キーナンバープレートは車内に置かないでください。また、万一に備えてキーナンバーをメモしておいてください。
- 万一、キーを紛失したときは、盗難を防ぐため、直ちにスバル販売店にご相談ください。
- スペアのアクセスキーまたはリモコンキーが必要な場合は、スバル販売店にご相談ください。

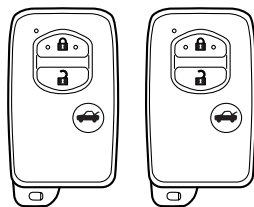
## ■ キーの種類

車両には、次のキーがついています。

### ● キーレスアクセス&プッシュスタート装備車

アクセスキーにはイモビライザー機能が装備されています。

☆2-37ページ参照



アクセスキー      アクセスキー



キーナンバー  
プレート

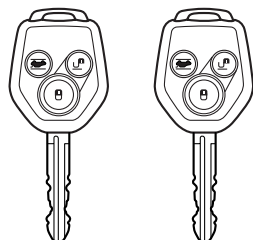
202061

## ●キーレスアクセス&amp;プッシュスタート装備車以外

グレードによりイモビライザー機能の有無があります。

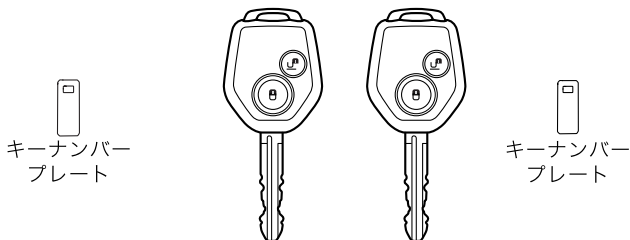
☆2-37ページ参照

## &lt;4ドア&gt;



リモコンキー リモコンキー

## &lt;5ドア&gt;



リモコンキー リモコンキー

201693

202079

**警告**

キーレスアクセス&プッシュスタートシステムにおいて、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の機器を装着されている方は、車両側発信アンテナから約22 cm以内の範囲に植込み型心臓ペースメーカーなどを近づけないようにしてください。

車両側発信アンテナの電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を装着されている方は、後述の“キーレスアクセス&プッシュスタートで使用している電波について”を参考に医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。車両側発信アンテナの電波により医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

- キーレスアクセス&プッシュスタート機能の作動あり/作動なしを設定することができます。設定方法は「キーレスアクセス&プッシュスタート機能の停止」を参照してください。また、スバル販売店でも設定変更することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆2-7ページ参照

**キーレスアクセス&プッシュスタートで使用している電波について**

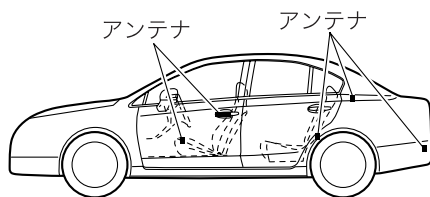
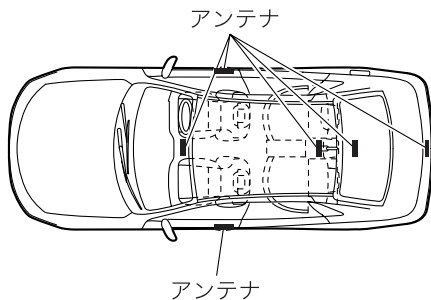
- キーレスアクセス&プッシュスタートでは、以下規則により定められた電波を使用しています。
  - － 電波法施行規則第6条第4項第2号
- キーレスアクセス&プッシュスタート機能は、従来の電波式リモコンドアロック機能の電波に加え、下記周波数の電波<sup>※</sup>を使用しています。その電波は次のイラストの車両側アンテナから周期的に出力しています。

※電波周波数：134 kHz

次ページへ →

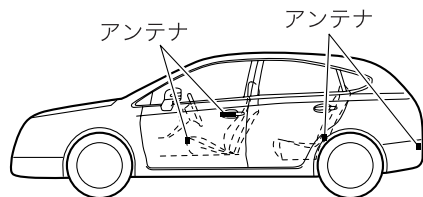
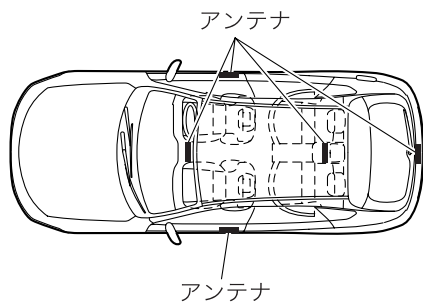
⇒前ページより

<4ドア>




202400

<5ドア>



202401


**注意**

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムでは微弱な電波を使用しているため、次のようなアクセスキーの状態、周囲の状況によっては、アクセスキー・車両間の通信の妨げとなり、施錠・解錠およびエンジンの始動ができなくなることがあります。

- 近くに放送施設、送電線などの強い電波を発生する設備があるとき
- 他の車両のアクセスキーまたはリモコンキーなどの電波を発信するような製品を使用しているとき
- アクセスキーの近くに携帯電話などの無線通信機があるとき
- アクセスキーの電池が消耗しているとき
- アクセスキーを次のような製品と同時に携帯しているとき
  - －他の車両のアクセスキーまたはリモコンキー
  - －複数のアクセスキー
  - －パソコンや携帯情報端末
  - －デジタルオーディオプレーヤー
  - －ポータブルゲーム機器
- アクセスキーが次のような金属製の物に接していたり、覆われたりしているとき
  - －アクセサリ
  - －アルミ箔などの金属が貼られたカード
  - －アルミ箔を使用したタバコの箱
  - －金属製の財布やカバン
  - －小銭
  - －カイロ
  - －CDやDVDなどのメディア

アクセスキーを車室内（例えば、インストルメントパネルの上、物入れ、シートの上など）、荷室内または車両周辺 2 m 以内（例えば、車庫での保管など）に絶対に放置・保管しないでください。

アクセスキーを車内に閉じ込めたり、電池が急激に消耗するおそれがあります。また、アクセスキーの位置によってはエンジンスイッチの電源が切り替わらないことがあります。

- 長期間お車を使用しないとき、機能自体を使用しないとき、やむをえずアクセスキーを車室内や車の周辺に保管したいときは、キーレスアクセス & プッシュスタート機能を停止させることができます。

☆2-7ページ参照

また、スバル販売店でも設定を変更することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- アクセスキーおよびリモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - － キーの電池はお客様ご自身で交換することができますが、交換の際に破損などのおそれがあるためスバル販売店での交換をお奨めします。
  - － パソコン、家電製品の近くに放置しないでください。キーが誤作動し、電池切れの原因となります。
  - － 水にぬらさないでください。水にぬれた場合はすみやかに拭き取り、十分に乾かしてください。
  - － 強い衝撃を与えないでください。
  - － 磁気を帯びた物に近づけないでください。
  - － ダッシュボードの上など直射日光が当たったり高温になる場所には絶対に放置しないでください。電池の損傷や回路故障の原因となります。
  - － 超音波洗浄機などで洗浄しないでください。
  - － 湿気やホコリが多い場所に放置しないでください。キーの故障の原因となります。
- 航空機内はアクセスキーまたはリモコンキーなどの無線機器の使用が禁止されています。航空機内ではキーのボタンを押さないでください。



### アドバイス

- アクセスキーは車両との通信のために、常時受信動作をし、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが、約1年～2年です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

☆7～20ページ参照

- アクセスキーを落下させた場合、内蔵されているメカニカルキーが外れることがあります。メカニカルキーの紛失にご注意ください。
- アクセスキーを紛失した場合は盗難を防ぐため、アクセスキーの再登録をお奨めします。アクセスキーの再登録をするときはスバル販売店にご相談ください。
- アクセスキーはドアポケットやダッシュボードなどの車内の収納場所に放置しないでください。(振動による破損や勝手にスイッチが入って閉じ込める危険性があります)

## ■キーレスアクセス&プッシュスタート機能の停止

次の場合、キーレスアクセス&プッシュスタート機能を停止することができます。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の機器を装着されている方
- 長期間お車を使用しないとき、または機能自体を使用しないとき




キーレスアクセス&プッシュスタート機能を停止させた場合でも、電波式リモコンドアロックは作動します。

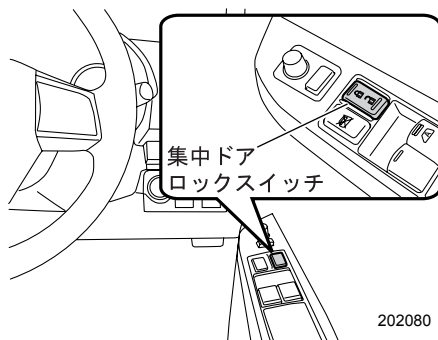
### 🏠 アドバイス

- 設定はスバル販売店でもできます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。
- 機能を停止させた場合、エンジンを始動するときは「アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動」を参照してください。

☆8-73、8-74ページ参照

## ●機能を停止させるとき

- ① 運転席に座りドアを閉めます。
- ② 集中ドアロックスイッチの  (解錠) を押します。
- ③ ②の操作後、5秒以内に運転席ドアを開けます。
- ④ ③の操作後、5秒以内にドアを開けたまま集中ドアロックスイッチの  (解錠) を2回押します。
- ⑤ ④の操作後、30秒以内に運転席ドアを「閉める→開ける」の操作を2回行います。
- ⑥ ⑤の操作後、30秒以内にドアを開けたまま集中ドアロックスイッチの  (解錠) を2回押します。
- ⑦ ⑥の操作後、30秒以内に運転席ドアを「閉める→開ける」の操作を1回行います。
- ⑧ ⑦の操作後、5秒以内にドアを閉めます。ブザー（ピー）が鳴り、機能が停止します。



202080

### 🏠 アドバイス

上記の手順④および⑥では、集中ドアロックスイッチをゆっくり押ししてください。スイッチを押す間隔が短い場合、機能が停止しないことがあります。

## ●機能を復帰させるとき

機能停止手順をもう一度行くと、機能を復帰させることができます。

このときブザー（ピッ）が鳴ります。

## キーレスアクセスによる施錠・解錠

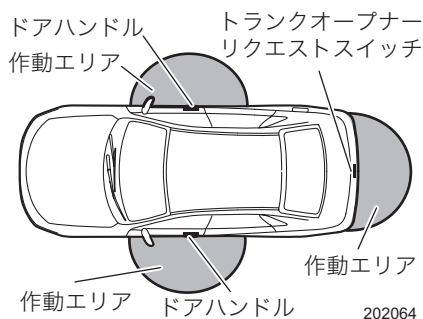
キーレスアクセスはアクセスキーを携帯することにより、全てのドアとリヤゲートの施錠・解錠、トランクの解錠が行えるシステムです。また、従来どおりの電波式リモコンドアロックによる施錠・解錠も、アクセスキーのボタン操作で行えます。

☆2-16ページ参照

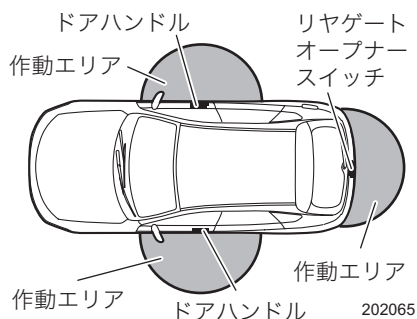
### ■作動エリア

- ドアおよびリヤゲートの施錠・解錠機能の作動エリアは、前席のドアハンドルとリヤゲートオープナースイッチを中心に約40～80 cmが目安となります。
- トランクの解錠機能の作動エリアは、トランクオープナースイッチを中心に約40～80 cmが目安となります。

#### <4ドア>



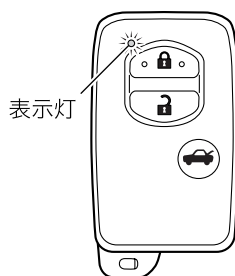
#### <5ドア>



ドアが施錠している状態で前席のドアハンドルの作動エリアに入ると、アクセスキーのLEDの表示灯が点滅します。

キーレスアクセス機能を停止させている場合は、アクセスキーのボタンを押さないとLEDの表示灯は点滅しません。

☆2-7ページ参照






**アドバイス**

- エンジンスイッチの電源を OFF にしてからドアの施錠操作を行ってください。電源が OFF 以外では、タッチセンサーおよびリクエストスイッチ、またはアクセスキーのボタン操作による施錠はできません。
- 施錠・解錠操作ができるのは、アクセスキーを検知している作動エリアのドアハンドルおよびリヤゲートのオープナースイッチ、リクエストスイッチのみになります。
- 誤作動防止のため、ドアハンドルのタッチセンサーまたはリヤゲートのリクエストスイッチによる施錠操作を行ったときは、約3秒間ドアハンドルまたはリヤゲートオープナースイッチによる解錠ができません。
- 操作が早すぎると施錠・解錠が完了していない場合があります。施錠後は、リヤドアのドアハンドルを操作して確認することをお奨めします。
- アクセスキーを車体に近づけ過ぎるとキーレスアクセス機能がうまく作動しない場合があります。作動しないときは少し離れて操作をやり直してください。
- アクセスキーを地面近くや地面から高い位置に置くと、図示した作動エリア内でもキーレスアクセス機能がうまく作動しない場合があります。
- アクセスキーが作動エリア内にあれば、アクセスキーを持たない方もキーレスアクセス機能を操作できます。ただし、施錠・解錠操作ができるのは、アクセスキーを検知している作動エリアのドアハンドルおよびリヤゲートのオープナースイッチ、リクエストスイッチになります。
- アクセスキーの状態、周囲の電波状況によってキーレスアクセス機能が正常に作動しない可能性があります。このような場合は、「アクセスキーが正常に作動しないとき」を参照してください。

## ☆8-72ページ参照

- アクセスキーが車内にある場合は施錠できません。ただし、アクセスキーの状態、周囲の状況によって施錠しアクセスキーを閉じ込める可能性があります。施錠する際はアクセスキーを持っていることを確認してください。
- アクセスキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所（例：TV 塔や発電所、放送局、無線機器使用場所など）、携帯電話通話中は、作動エリアが狭くなる場合や、作動しないことがあります。このような場合は、「アクセスキーが正常に作動しないとき」を参照してください。

## ☆8-72ページ参照

- ドア(リヤゲート含む)が開いているときは施錠できません。全てのドアおよびリヤゲートを閉めてから、施錠操作を行ってください。

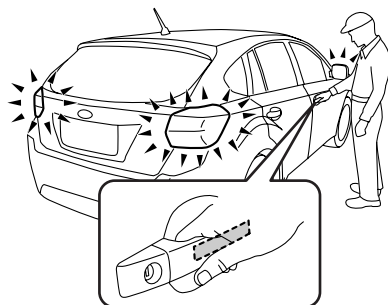
次ページへ ⇒

⇒前ページより

- 手袋をつけてドアハンドルを握ったり、タッチセンサーに触れた場合、施錠・解錠が遅れたり、施錠・解錠できないことがあります。
- アクセスキーが作動エリア内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかったときは、ドアが解錠または施錠することがあります。解錠された場合は、施錠してください。ただしドアの開閉操作がない場合は、約30秒後に自動施錠されます。

## ■解錠

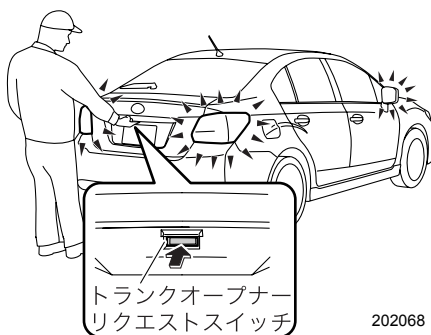
アクセスキーを携帯し、ドアハンドルを握ります。全てのドア（リヤゲート含む）が解錠します。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。



202067

## ●トランクの解錠（4ドア）

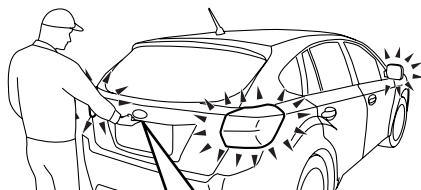
アクセスキーを携帯し、トランクオープナーリクエストスイッチを押します。トランクが解錠し、開きます。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。



202068

## ●リヤゲートからの解錠（5ドア）

アクセスキーを携帯し、リヤゲート中央のリヤゲートオープナースイッチを押します。リヤゲートと全てのドアが解錠し、リヤゲートが開きます。このときブザーが2回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。

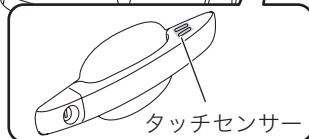
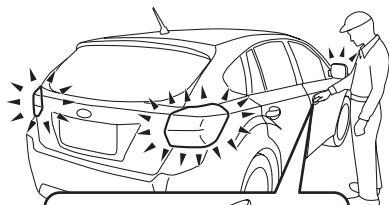


リヤゲートオープナースイッチ

202069

## ■施錠

アクセスキーを携帯し全てのドア（リヤゲート含む）を閉めてからドアハンドルのタッチセンサーに触れます。全てのドアが施錠します。このときブザーが1回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。

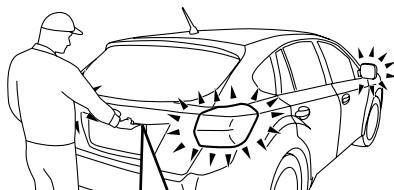


タッチセンサー

202070

## ●リヤゲートからの施錠（5ドア）

アクセスキーを携帯し全てのドアを閉めてから、リヤゲートオープナー右端のリクエストスイッチを押します。リヤゲートと全てのドアが施錠します。このときブザーが1回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。



リクエストスイッチ

202071

## アドバイス

- 誤作動防止のため、ドアハンドルのタッチセンサーまたはリヤゲートのリクエストスイッチによる施錠操作を行ったときは、約3秒間ドアハンドルまたはリヤゲートオープナースイッチによる解錠ができません。
- 半ドアで施錠操作を行った場合はブザーが5回鳴り、同時に非常点滅灯(ハザードランプ)が5回点滅し、いずれかのドア(リヤゲート含む)およびトランクが開いていることをお知らせします。


## ■ その他の機能

### ● オフディレイ機能

ドアおよびリヤゲートが閉まっているとき、次の操作をすると室内ランプが一旦点灯し、徐々に消灯していきます。

- ルームランプ(スイッチがDOOR位置の時)
  - ー 解錠またはドア(リヤゲート含む)を開けて閉めたとき
  - ー アクセスキーを携帯し車両に近づいたとき
- カーゴルームランプ(スイッチがDOOR位置の時)
  - ー リヤゲートを開けて閉めたとき

点灯中次の操作をすると、室内ランプは消灯します。

- ドアハンドルのタッチセンサーに触れる、またはリヤゲートのリクエストスイッチを押して施錠した場合
- アクセスキーの  ボタンを押して施錠した場合
- プッシュエンジンスイッチを押してACCまたはONにした場合

### ● 自動施錠

解錠してから30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。自動施錠する約5秒前よりブザーでお知らせします。

このとき、盗難警報装置も作動します。

### ● 節電機能

アクセスキーの電池と車両のバッテリー保護のため、以下の場合キーレスアクセス&プッシュスタートを停止します。

- 全てのドア(リヤゲート含む)を施錠した状態で2週間以上キーレスアクセス&プッシュスタートおよび電波式リモコンドアロックを使用しない場合
- 全てのドア(リヤゲート含む)を施錠した状態で作動エリア内にアクセスキーを10分以上放置した場合

## ▼復帰方法

以下のいずれかを行うとキーレスアクセス&プッシュスタートは復帰します。

- 運転席のドアハンドルを握って解錠する。
- 運転席のドアタッチセンサーに触れて施錠する。
- リヤゲートオープナースイッチを押して解錠する。
- リヤゲートリクエストスイッチを押して施錠する。
- 電波式リモコンドアロックで解錠または施錠する。
- メカニカルキーで解錠し、施錠する。

## ●ユーザーカスタマイズ機能

スバル販売店で次の機能の設定を変更することができます。

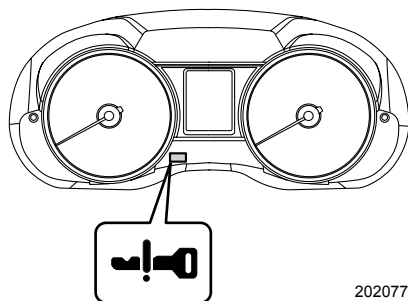
- 解錠時や施錠時に点滅する非常点滅灯（ハザードランプ）の作動あり/作動なし
- 解錠時や施錠時に鳴るブザーの作動あり/作動なし
- 室内ランプのドア連動の作動あり/作動なしおよび点灯時間の設定
- 自動施錠の作動あり/作動なしおよび自動施錠されるまでの時間の設定

☆1-2ページ参照

## ■警告音および警告表示

キーレスアクセス&プッシュスタートでは誤操作や盗難を防止するため、警告音やメーター内の警告灯の点滅、マルチファンクションディスプレイの表示、またはプッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯の点滅により警告します。




この場合は適切な処置を行ってください。



202077

## ●警告一覧表

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ピーツ、 ピーツ、 ・・・ (断続)	—	—	—	電源がACCのとき、運転席ドアを開けた。 (CVT車はセレクトレバーがPのとき)	運転席ドアを閉めてから電源をOFFにしてください。 ※車両から離れるときは必ず電源をOFFにしてください。
				運転席ドアが開いているとき、電源をOFFにした。	運転席ドアを閉めてください。
ピッ	ピー (2秒間)	—	—	閉じ込み防止警告 車内にアクセスキーが放置されている状態で「キーを使わない車外からの施錠」(2-21ページ)により、いずれかのドアを施錠しようとした。	アクセスキーを車外に持ち出した上でドアの施錠操作を行ってください。 ※室内にアクセスキーがある状態ではドアの施錠操作はできません。 ※警告ブザーとともに全ドアが解錠されます。
—	ピー (2秒間)	—	—	全てのドアが施錠されている状態(もしくは自動施錠のカウント中)で、トランクにアクセスキーを放置したままトランクを閉めた。 (4ドアのみ)	トランクからアクセスキーを取り出した上でトランクを閉めてください。 ※この警告ブザーが吹鳴した後、トランクオープナーリクエストスイッチを押せばトランクを解錠することができます。
				キー置き忘れ警告 電源がOFFのとき、アクセスキーが車内にいる状態でドアハンドルのタッチセンサーに触れる、またはリヤゲートのリクエストスイッチを押した。	アクセスキーを車外に持ち出した上でドアの施錠操作を行ってください。 ※室内にアクセスキーがある状態ではドアの施錠操作はできません。

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
—	ピッピッピッ ピッピッ (5回)	—	—	半ドア警告 電源がOFFのとき、いずれかのドア（リヤゲート含む）が開いている状態で、ドアハンドルのタッチセンサーに触れる、またはリヤゲートのリクエストスイッチまたはアクセスキーの🔑ボタンを押した。	ドアを確実に閉めて施錠操作を行ってください。 ※いずれかのドア（リヤゲート含む）が開いている状態では施錠できません。
ピッ	ピー—— (最長 60秒間)	—	—	電源切り忘れ警告 電源がOFF以外のとき、アクセスキーを携帯した状態でドアハンドルのタッチセンサーに触れる、またはリヤゲートのリクエストスイッチを押した。 (CVT車はセレクトレバーがPのとき)	アクセスキーを車内に戻すか、電源をOFFにしてください。 ※電源をOFFにしないとドアの施錠操作はできません。
ピッ	ピッピッピッ (3回)		—	キー持ち出し警告 電源がOFF以外のとき、アクセスキーを携帯した状態で車外に出て運転席ドアを閉めた。(CVT車はセレクトレバーがPのとき)	電源をOFFにした上で車外に出てください。
				同乗者のキー持ち出し警告 電源がOFF以外で同乗者がアクセスキーを車外に持ち出し、運転席以外のドアを閉めた。	アクセスキーを車内に戻すか、電源をOFFにしてください。
ピー—— (連続)	ピー—— (連続)		—	電源がOFF以外でセレクトレバーがP以外 のとき、アクセスキーを携帯した状態で車外に出て運転席のドアを閉めた。	セレクトレバーをPにし、電源をOFFにした上で車外に出てください。
ピーツ、 ピーツ、… (約7秒間)	—		—	キー無し警告 車内にアクセスキーがない状態で走行した。	アクセスキーを携帯して走行してください。



運転する前に

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯表示	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ピー—— (連続)	—	—	—	セレクトレバー位置警告 電源がOFF以外でセレクトレバーが[P]以外 のとき、運転席ドアを 開けた。	セレクトレバーを[P]に し、電源をOFFにした 上で車外に出てくださ い。

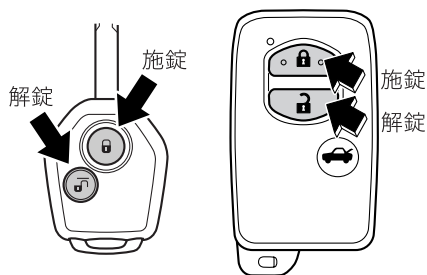
## 電波式リモコンドアロックによる施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと電波により、車から離れたところから全てのドア（リヤゲート含む）の施錠・解錠およびトランクの解錠ができます。

### ■解錠



車のまわりからアクセスキーの  ボタンまたはリモコンキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲート含む）が解錠します。このとき非常点滅灯（ハザードランプ）が2回点滅します。

キーレスアクセス & プッシュスタート装備車は、同時にブザーが2回鳴ります。



202334


### ■施錠

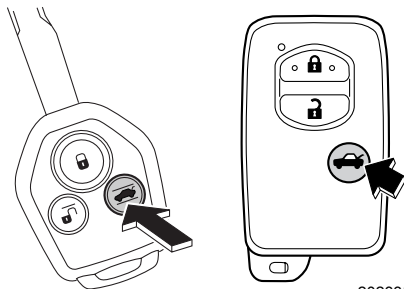
車のまわりからアクセスキーの  ボタンまたはリモコンキーの  ボタンを押すと全てのドア（リヤゲート含む）が施錠します。このとき非常点滅灯（ハザードランプ）が1回点滅します。

キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、同時にブザーが1回鳴ります。




## ■トランクの解錠（4ドア）

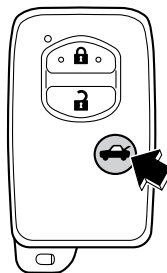
車のまわりから  ボタンを約 1.5 秒以上押すとトランクが開きます。このときブザーが 2 回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が 2 回点滅します。



202335

## ■リヤゲートの解錠（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車の5ドア）

車のまわりから  ボタンを押すとリヤゲートが解錠します。このときブザーが 2 回鳴り、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が 2 回点滅します。



202073



### アドバイス

- 車から離れるときは、リヤドアのドアハンドルを引き、半ドアになっていないことを確認してください。
- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

☆7-20ページ参照

- 半ドアで施錠操作を行った場合は非常点滅灯（ハザードランプ）が 5 回点滅し、いずれかのドア（リヤゲート含む）およびトランクが開いていることをお知らせします。  
キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、同時にブザーが 5 回鳴ります。



## ■その他の機能

### ●オフディレイ機能

ドアおよびリヤゲートが閉まっているとき、次の操作をすると室内ランプが一旦点灯し、徐々に消灯していきます。

- ルームランプ（スイッチがDOOR位置の時）
  - － 解錠またはドア（リヤゲート含む）を開けて閉めたとき
  - － アクセスキーを携帯し車両に近づいたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- カーゴルームランプ（スイッチがDOOR位置の時）
  - － リヤゲートを開けて閉めたとき

点灯中次の操作をすると、室内ランプは消灯します。

- ドアハンドルのタッチセンサーに触れる、またはリヤゲートのリクエストスイッチを押して施錠した場合
- アクセスキーの  ボタンまたはリモコンキーの  ボタンを押して施錠した場合
- プッシュエンジンスイッチを押してACCまたはONにした場合（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- エンジンスイッチをACCまたはONにした場合（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

### ●自動施錠

解錠してから30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、自動施錠する約5秒前よりブザーでお知らせします。


このとき、盗難警報装置も作動します。

### ●ユーザーカスタマイズ機能


スバル販売店で次の機能の設定を変更することができます。

- 解錠時や施錠時に点滅する非常点滅灯（ハザードランプ）の作動あり/作動なし
- 解錠時や施錠時に鳴るブザーの作動あり/作動なし
- 室内ランプのドア連動の作動あり/作動なしおよび点灯時間の設定
- 自動施錠の作動あり/作動なしおよび自動施錠されるまでの時間の設定

☆1-2ページ参照

 **注意**

- 航空機内はアクセスキーまたはリモコンキーなどの無線機器の使用が禁止されています。航空機内ではキーのボタンを押さないでください。
- キーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - － ダッシュボードの上など直射日光が当たったり高温になる場所には絶対に放置しないでください。電池の損傷や回路故障の原因になります。
  - － 強い衝撃を与えないでください。
  - － 電池交換時以外は分解しないでください。電池交換の際は電池のショートおよび⊕、⊖の方向に注意してください。
  - － 水にぬらさないでください。水にぬれた場合はすみやかに拭き取り、十分に乾かしてください。

 **アドバイス**

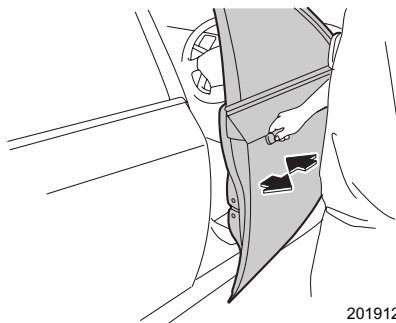
- 電波式リモコンドアロックは車の周囲約1m以内で作動しますが、周囲に強い電波やノイズがある場合（例：TV塔や発電所、放送局、大型ディスプレイ、空港、無線機器使用場所など）は、作動距離が変わることがあります。
- 車を離れるときは、リヤドアのドアハンドルを引いて施錠を確認してください。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、ドアまたはリヤゲートが開いているときや半ドアの場合、作動しません。

## ドア

### ■ ドアの開閉

ドアを開けるときは、ドアハンドルを手前に引きます。

ドアを閉めるときは、確実に閉め、半ドアになっていないことを確認してください。



201912

#### ⚠ 注意

- ドアを開けるときは周囲の安全を十分に確認してください。不用意に開けると後続車、自転車、オートバイなどにぶつかることがあります危険です。
- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは開くことがあります危険です。
- ドアを閉めるときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。

#### 🏠 アドバイス

- ドアハンドルを操作するときには、ドアハンドルに指・爪などを挟まないよう気をつけてください。
- 車から離れる場合はエンジンを止め、キーを持っていることを必ず確認してからドアを施錠してください。
- 施錠しても車内に貴重品などを置かないようにしてください。
- 乗車中の施錠、解錠については次のような特徴がありますので、状況に合わせて選択してください。
  - － 施錠している場合は、お子さまなどの同乗者が誤ってドアを開けることを防いだり、停車時に車外からの不意の侵入者を防ぎます。また、シートベルトの着用と併せ、事故時に車外に投げ出される可能性が少なくなります。
  - － 解錠している場合は、万一の事故のとき車外からの救援活動が受けやすくなります。

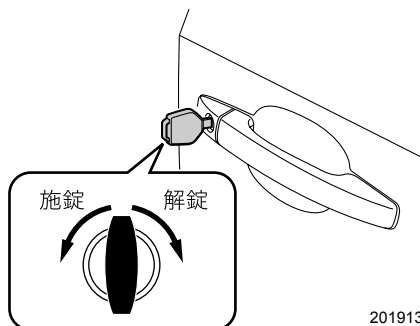
## ■車外からのキーによる施錠・解錠

### ●ドア

キーを確実に差し込んで車の前側に回すと施錠され、後ろ側に回すと解錠されます。

キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、メカニカルキーを取り出して使用します。

☆8-72ページ参照



201913



### アドバイス

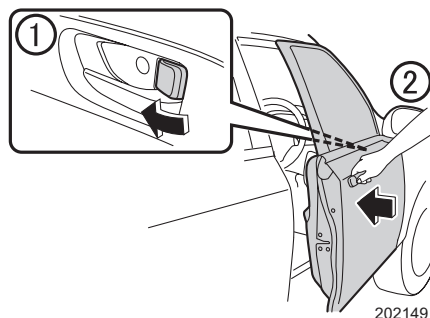
- 車外から施錠・解錠できるのは運転席ドアだけです。その他のドアはドアロックノブまたは集中ドアロックスイッチで施錠・解錠してください。
- 盗難警報装置を作動させた状態でキーによる解錠を行った場合、盗難警報装置は解除されません。ドアまたはトランクを開けた場合、警報が作動します。
- キーによる施錠では、盗難警報装置は作動しません。

☆2-39ページ参照

## ■キーを使わない車外からの施錠

### ●フロントドア

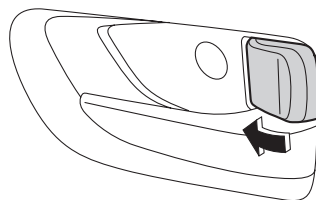
- ① ドアロックノブを前側に引きます。
- ② ドアハンドルを引いたままドアを閉めます。



202149



## ●リヤドア

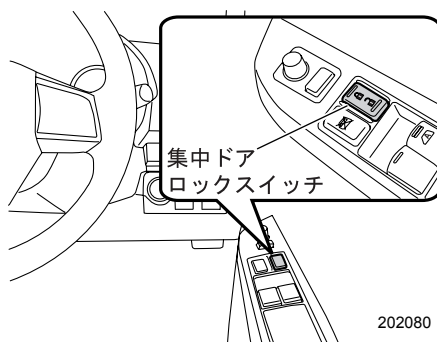
ドアロックノブを前側に引いてドアを閉めます。



202150

## ■車内からの集中ドアロックによる施錠・解錠

運転席ドアの集中ドアロックスイッチの  (施錠) を押すと全てのドア (リヤゲート含む) が施錠されます。 (解錠) を押すと全てのドア (リヤゲート含む) が解錠されます。



202080



### 注意


ドアロックノブで運転席ドアを施錠または解錠しただけでは、集中ドアロックは作動しません。必ず集中ドアロックスイッチで施錠または解錠してください。

## ●キー閉じ込み防止機能

ドアを施錠しないように働き、キーを車内に残したままになることを防止する機能です。この機能は、以下の状態のときに作動します。

- キーレスアクセス&プッシュスタート装備車はエンジンスイッチがACCまたはONのとき
- キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外はエンジンスイッチにキーが差し込まれているとき

## ▼キー閉じ込み防止機能が作動するとき

運転席ドアを開けた状態で、集中ドアロックスイッチの  (施錠) を押したとき

**▼キー閉じ込み防止機能が作動しないとき**

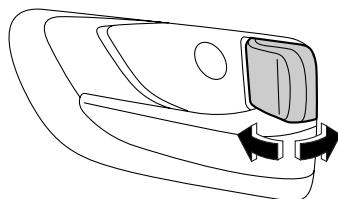
- ドアロックノブで施錠しドアを閉めたとき
- 車外から合いかぎを使い施錠したとき

**アドバイス**

車外に出るときには、必ずキーを持っていることを確認して施錠してください。

**■車内からのドアロックノブによる施錠・解錠**

ドアロックノブを後ろ側に引くと解錠され、前側に押しと施錠します。(施錠されると赤マークが見えなくなります)



201207

**■キー抜き忘れ警報**

キーの抜き忘れを防止するための装置です。キーをエンジンスイッチに差し込んだまま運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。

**アドバイス**

エンジンスイッチがONのときは鳴りません。

## ■バッテリー上がり防止機能

半ドアなどで次のランプが点灯し続けた場合、バッテリー上がりを防止するため、約20分後に自動的に消灯します。

- ルームランプ（ドア連動時）
- トランクルームランプ（4ドア）
- カーゴルームランプ（5ドア：ドア連動時）
- エンジンキー照明（イグニッションキー照明）

### 🏠 アドバイス

- 車から離れるときは、必ずドアが確実に閉まっているかを確認してください。
- キーレスアクセス&プッシュスタート装備車はエンジンスイッチが ACC またはONのとき、この機能は作動しません。
- キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外はエンジンスイッチにキーが差し込まれていると、この機能は作動しません。

## ■その他の機能

### ●ユーザーカスタマイズ機能

スバル販売店で次の機能の設定を変更することができます。

- キー閉じ込み防止機能の作動あり/作動なし
- バッテリー上がり防止機能の作動あり/作動なし

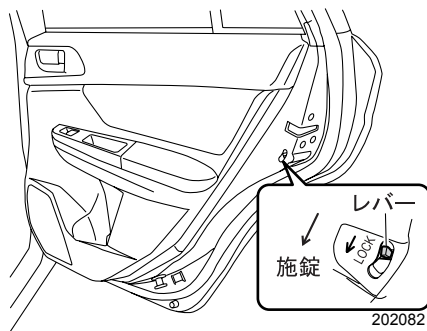
☆1-2ページ参照

## チャイルドプルーフ

左右のリヤドアにあります。後席にお子さまを乗せたときに使用してください。

### ■使いかた

チャイルドプルーフのレバーを「LOCK」側に動かしてドアを閉めると、車内のドアハンドルではリヤドアを開けられなくなります。解除するときはレバーを「LOCK」と反対側に動かしてください。





## ■チャイルドブローフが働いているときのドアの開けかた

ドアを解錠し、車外からドアハンドルを引いて開けます。

車内から開けるときは、ドアロックノブを解錠にし、ウィンドウを下げ車外のドアハンドルを引いて開けます。

## パワーウィンドウ

パワーウィンドウは、エンジンスイッチがONのとき使用できます。

### 警告

- パワーウィンドウが閉まるときには大きな力が働きます。挟まれると危険ですので閉める前に窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 挟まれると危険ですので小さなお子さまには操作させないでください。
- お子さまを乗せるときにはロックスイッチをロック状態にしておいてください。お子さまがウィンドウスイッチをいたずらして手や首を挟むことを防止します。

☆2-27ページ参照

### 注意

- ウィンドウの全閉、全開後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- 車両から離れる場合は、必ずお子さまも一緒にお連れください。お子さまのいたずらなどによる誤操作で、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### アドバイス

次の操作を行うとパワーウィンドウのブレーカーが作動してウィンドウの開閉ができなくなることがあります。

- 運転席ウィンドウを全閉または全開にした後、スイッチを同じ方向へ数秒間操作し続ける。
- 3席以上のウィンドウを全閉または全開にした後、それぞれのスイッチを同時に同じ方向へ操作し続ける。

この場合、ブレーカー復帰後に必ずパワーウィンドウの初期設定を行ってください。初期設定がされていないと、運転席ウィンドウの自動全開（全閉）およびウィンドウ反転機能は作動しません。

☆2-28ページ参照

## ■スイッチの操作

### ●運転席ウィンドウの開閉

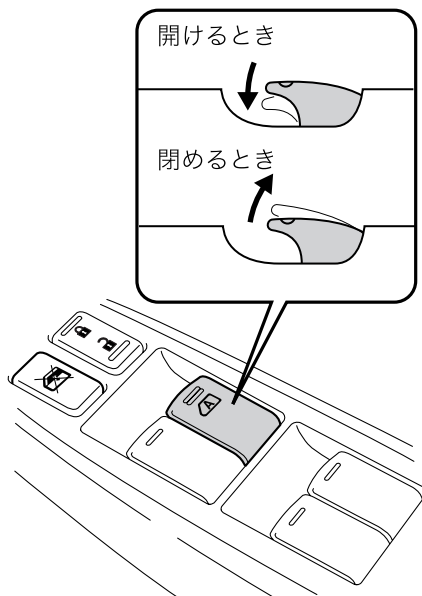
スイッチを軽く操作している間、作動します。  
強く操作すると、自動で全開（全閉）します。

開けるとき：

- スwitchを軽く押します。押している間ウィンドウが下降します。
- スwitchを強く押すと自動で全開になります。途中でウィンドウの下降を停止させるときは、スwitchを軽く引き上げます。

閉めるとき：

- スwitchを軽く引き上げます。引き上げている間ウィンドウが上昇します。
- スwitchを強く引き上げると自動で全閉になります。途中でウィンドウの上昇を停止させるときは、スswitchを軽く押します。



202083

### 🏠 アドバイス

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断られたときは、必ずパワーウィンドウの初期設定をしてください。  
初期設定がされないと運転席ウィンドウは自動で全開（全閉）しません。  
☆2-28ページ参照

### ●オフディレイ機能（キー OFF後の作動）

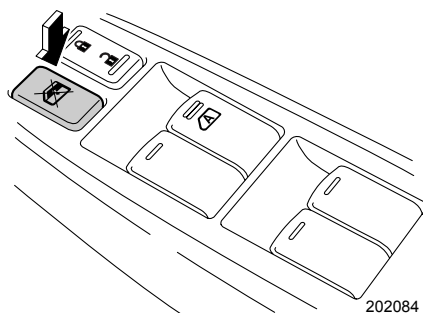
運転席のウィンドウはエンジンスwitchをONからACCまたはLOCK（OFF）にした後でも、約30秒間はウィンドウを昇降することができます。ただし、その約30秒の間に運転席のドアを開けて閉めると、ウィンドウの昇降はできなくなります。

### 🏠 アドバイス

昇降ができる状態のときは、スswitchの照明が点灯しています。

## ●ロックスイッチ

ロックスイッチを押すと助手席と後席のウィンドウは開閉できなくなります。(ロック状態)



## アドバイス

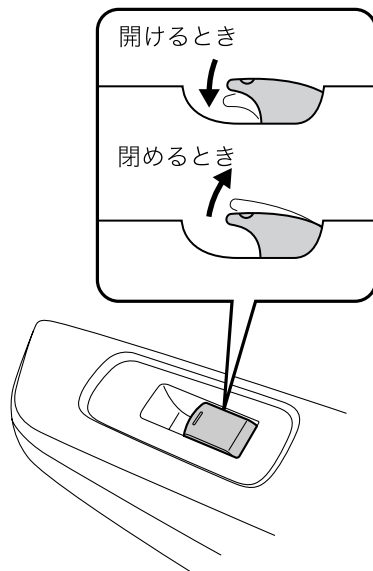
ロック状態のときは、助手席と後席のスイッチの照明が消灯します。

## ●助手席、後席ウィンドウの開閉

それぞれのウィンドウを開閉します。スイッチを操作している間作動します。

開けるとき：スイッチを押します。

閉めるとき：スイッチを引き上げます。



## ■ ウインドウ反転機能

運転席のウインドウが自動全閉中、窓枠とウインドウとの間に異物の挟み込みを感知すると、ウインドウの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。



### 注意

ウインドウを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、挟み込みを感知しない領域があります。指など挟まないようにしてください。



### アドバイス

- 環境、走行条件により異物を挟んだときと同じ衝撃がウインドウに加わるとウインドウ反転機能が作動することがあります。
- ウインドウ反転機能が作動した後、数秒間はスイッチを操作してもウインドウの操作をすることができません。
- バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、必ずパワーウインドウの初期設定をしてください。初期設定がされないと、ウインドウ反転機能が作動しません。

## ■ パワーウインドウの初期設定

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、必ずパワーウインドウの初期設定を行ってください。パワーウインドウの初期設定がされていないと、次の機能は作動しません。

- 運転席ウインドウの自動全開（全閉）
- ウインドウ反転機能

### ● 初期設定のしかた

- ① ドアを閉め、エンジンスイッチをONにします。
- ② 運転席ウインドウスイッチを下に押し、半分くらいまでウインドウを開けます。
- ③ 運転席ウインドウスイッチを上を引き続け、ウインドウを全閉にします。全閉後、約1秒間スイッチを上を引き続けます。
- ④ 運転席ウインドウスイッチを強く押し、自動でウインドウを全開にします。

## フューエルリッド（燃料補給口）

メーター表示部の燃料計にフューエルリッド（燃料補給口）が右側にあることを示す表示があります。



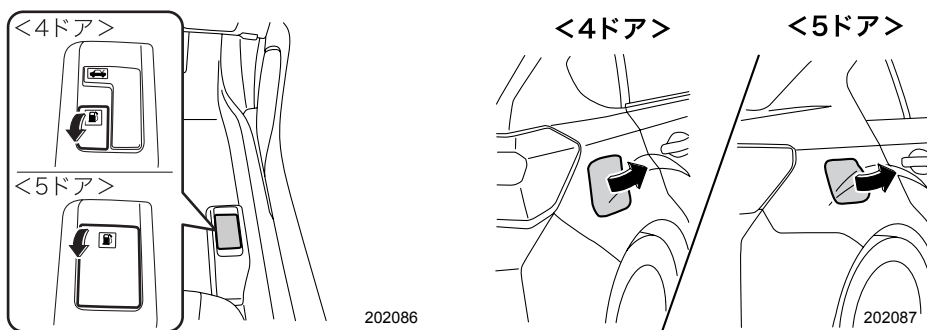
300826

	使用燃料	タンク容量
XV以外	無鉛レギュラーガソリン	約55L
XV		約60L

運転する前に

### ■フューエルリッドの開閉

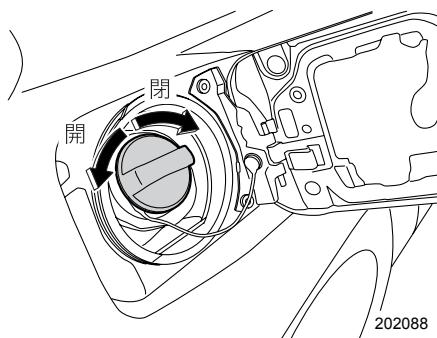
開けるときは、運転席右下にあるフューエルリッドオープナーレバーを引き上げます。



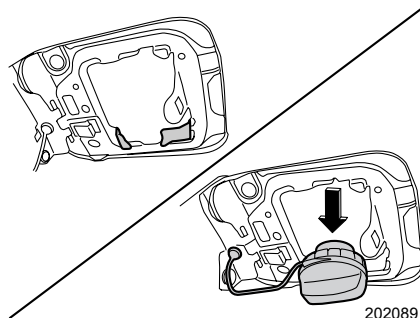
閉めるときは、ロックするまでフューエルリッドを手で押し付けてください。

## ■フューエルキャップの開閉

フューエルキャップを左に回して開けます。給油後は、「カチッ」と音がするまで右に回して閉めます。



フューエルキャップを外したときは、フューエルリッド内側にかけることができます。



### ⚠ 警告

給油時には必ず次のことをお守りください。

- ガソリンは非常に引火しやすいため、タバコなど一切の火気は厳禁です。
- エンジンは必ず止めてください。
- フューエルキャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れて火災につながるおそれがあります。
- 静電気除去キャップを採用していますので、フューエルキャップは車に合ったスバル純正品を使用してください。

☆1-27ページ参照

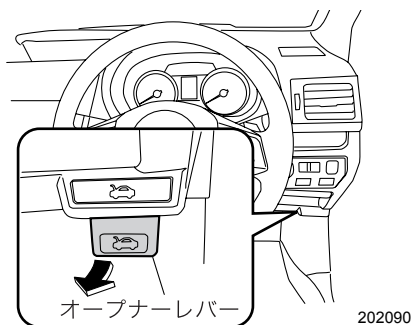
### ⚠ 注意

セルフ給油のときは、給油ガンが自動停止した時点で止めてください。

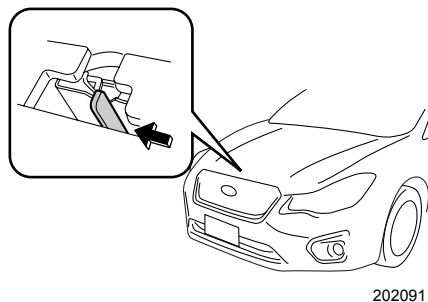
## ボンネット

### ■開けるとき

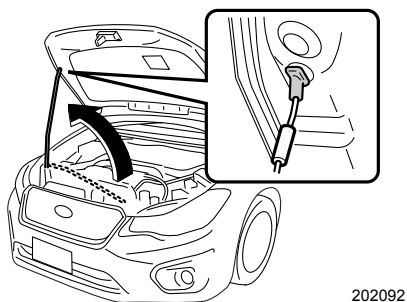
- ① ボンネットのオープナーレバーを引きます。  
運転席側のインストルメントパネル右下に  
あります。



- ② フロントグリルとボンネットのすき間から  
レバーを左に押し、ロックを外し、ボン  
ネットを持ち上げます。



- ③ ステーをホルダーから外し、ボンネットの  
ストッパー穴に入れて固定します。



## ■閉めるとき

ステアを外してホルダーに収め、ボンネットをゆっくり降ろしてボディに近くなったら（約30cm）手を離します。

確実にロックされていることを確認してください。

### 注意

ボンネットを開閉するときは次のことに注意してください。

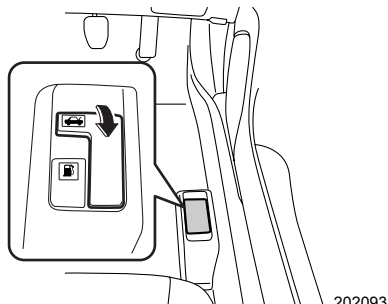
- 走行後すぐに開けるとときには、部品が熱くなっているので、やけどしないように注意してください。
- ボンネットを開けるとときにはワイパーアームは起こさないでください。また、ワイパーを作動させないでください。ボンネットとワイパーアームが接触し、ボンネットまたはワイパーアームを傷つけるおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときには指や他の物を挟まないよう充分注意してください。
- ボンネットを閉めるときにはボンネットを上から強く押し付けしないでください。ボンネットがへこむことがあります。
- 必ず走行前にボンネットが確実にロックされていることを確認してください。  
確実にロックされていないまま走行すると、走行中開くことがあり非常に危険です。
- 風の強いときは充分注意して開けてください。ボンネットが閉まること  
が  
あります。  
ー ボンネットにスバル純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないで  
ください。ボンネットの重量が極端に重くなると、開けたときにステアが  
支えきれなくなるおそれがあります。




## トランク（4ドア）

### ■車内から開けるとき

運転席右下にあるトランクオープナーレバーを引きます。

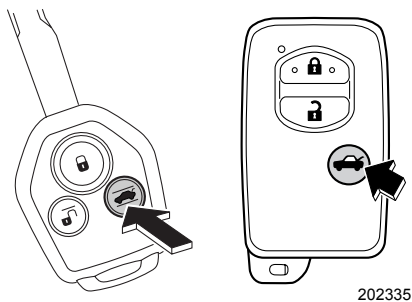


### ■車外から開けるとき

アクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンを約1.5秒以上押します。

キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、トランクオープナースイッチでも解錠できます。

☆2-10ページ参照




### ■閉めるとき


トランクをゆっくり降ろし、トランクを押さえつけるように閉めます。確実にロックされていることを確認してください。

#### 警告

- 走行するときはトランク内に人を絶対に乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- トランクは中から開けることができません。お子さまが入らないよう注意してください。閉じ込められると重大な傷害を受けるおそれがあります。

 **注意**

- 走行するときはトランクを完全に閉めてください。開けたまま走行すると車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。
- トランクを開けるときにはワイパーアームは起こさないでください。また、ワイパーを動作させないでください。トランクとワイパーアームが接触し、トランクまたはワイパーアームを傷つけるおそれがあります。
- トランクを閉めるときには荷物や手足を挟まないように注意してください。周囲にお子さまがいる場合にはとくに注意してください。また、エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするとき、排気ガスの熱でやけどをしないように注意してください。
- トランクを閉めるときにはトランクを上から強く押しつけないでください。トランクがへこむことがあります。

 **アドバイス**

- 車から離れるときは盗難防止のため、トランクの中に貴重品を置かないでください。
- トランクの中にキーを置き忘れないようご注意ください。
- トランクルームランプは、トランクを開けると点灯し、閉じると消灯します。長時間開けたままにすると、トランクルームランプが点灯したままとなりバッテリー上がりの原因になります。

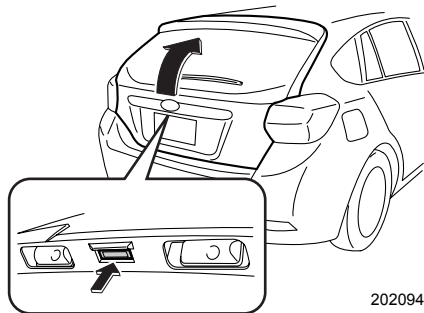
## リヤゲート（5ドア）

リヤゲートは次を操作することで施錠・解錠ができます。

- 電波式リモコンドアロック
- 集中ドアロックスイッチ
- キーレスアクセス機能

### ■開けるとき

リヤゲートオープナースイッチを押してリヤゲートを少し開けます。手で支えながらゆっくりと最上部（全開位置）まで持ち上げます。



202094

### ■閉めるとき

リヤゲートをゆっくり下げて、上から手で押さえつけるように閉めます。半ドアでないことを確かめます。

## 注意

- 開閉や荷物の出し入れのとき、リヤゲートが頭や顔にぶつからないように注意してください。
- リヤゲートを閉めるときは、他の人の手（とくにお子さまには気をつけてください）や荷物を挟まないように注意してください。
- エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするとき、排気ガスの熱でやけどをしないように注意してください。
- 走行前には、リヤゲートを完全に閉めてください。走行中に開くと荷物が落ちることがあります。
- 走行中や長時間のアイドルングをしているときはリヤゲートを完全に閉めてください。車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。
- リヤゲートを支えているガスステー部にうすいビニール袋、テープなどが噛み込まないように、また、荷物の積み下ろしなどで傷をつけないように注意してください。ステーのガス抜けにより、ゲートが自然に閉じてしまう場合があります。
- リヤゲートにスバル純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。リヤゲートの重量が極端に重くなると、開けたときにステーが支えきれなくなるおそれがあります。

## アドバイス

- リヤゲートオープナースイッチを押すと同時にリヤゲートを開けようとした場合、リヤゲートが開かないことがあります。
- キャリアなどに積んだ荷物が当たらないように気をつけて開けてください。
- 傾斜した場所では、平坦な場所よりもリヤゲートの開閉がしにくかったり、急に開閉してしまう場合があります。
- バッテリー上がりや集中ドアロックシステムの故障などでリヤゲートの解錠ができなくなった場合は、車室内から解錠することができます。

☆8-71ページ参照

# セキュリティシステム

## イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）

アクセスキー、リモコンキーにはイモビライザー機能が装備されています。

キーには、個々の違った識別コードが登録されています。

キーの識別コードが正しければエンジンを始動できますが、未登録のキーや識別コードの異なるキーなどではエンジンを始動することができません。



### アドバイス

- イモビライザー機能は車両自体の盗難を防ぐ装置であり、車室内への侵入を防ぐ機能はありません。車から離れるときは必ずドアを施錠してください。
- キーは、最大7つ（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）または4つ（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）まで登録できます。スペアのキーが必要な場合は、スバル販売店にご相談ください。
- 万一、キーを紛失したときには、盗難を防ぐため紛失したキーの登録を消却するようお願いいたします。登録の消去は、スバル販売店でのみ行えます。スバル販売店にご相談ください。

## ■セキュリティ表示灯



### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装備車

プッシュエンジンスイッチを押していないときは点滅しています。正規のアクセスキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチを押すと消灯します。

正規のアクセスキー以外を携帯し、プッシュエンジンスイッチを押した場合、表示灯は点滅したままでエンジンを始動できません。



### アドバイス

エンジン停止中、エンジンスイッチがACCまたはONでドアを開閉するとセキュリティ表示灯が点滅します。このとき、正規のアクセスキーを携帯していればエンジンを始動できますが、携帯していないときはエンジンの始動はできません。

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外

エンジンスイッチにキーが差し込まれていないときは点滅しています。エンジンスイッチにキーを差し込むと消灯し、エンジンの始動ができます。正規のキー以外を使うと、表示灯が点灯しエンジンを始動できません。もし、正規のキーを使っても始動できない場合、一旦キーを抜いて再度やり直してください。

## ⚠ 注意

イモビライザーはキーと車両の識別コードを電子的に照合します。次のことに注意してください。

- 強い磁石の近くにはキーを置かないでください。イモビライザーの誤作動の原因になるおそれがあります。
- ダッシュボードの上など高温になる場所にキーを置かないでください。
- キーを水にぬらさないでください。
- 次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができない場合があります。
  - ① キーに金属製の物が接しているとき
  - ② キーに他のキーの金属部が接しているとき
  - ③ キーが他の車両のイモビライザーシステム用キー（信号発信機内蔵の物）と近いとき
  - ④ キーが他の信号発信機と近いときや接しているとき



301560

## 🏠 アドバイス

エンジンスイッチにキーを差したままにしておくと、セキュリティ表示灯が再度点滅しますが、エンジン始動はできます。（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

## 盗難警報装置

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外でドア（リヤゲート含む）またはトランクが開けられたとき、または車両が衝撃を受けたとき（ディーラーオプションの衝撃センサー装備車のみ）以下の警報で周囲に異常を知らせます。

- 30秒間車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

☆2-10、2-13、2-16ページ参照

この機能の初期設定は「作動なし」となっています。この機能を使用する場合、警報の設定を「作動あり」に設定してください。

☆2-42ページ参照

### 注意




盗難警報装置は特定条件で作動し警報などで周囲に知らせる装置であり、盗難を防止するものではありません。  
車から離れるときは、車内に金品、貴金属などを置かないでください。

### アドバイス

- 30秒間鳴り続けた後も、ドアが開いたままになっている場合、最長3分間、警報が鳴り続けます。また、ドアを閉めると最長30秒後には警報は止まります。
- 一旦、盗難警報装置を監視状態にすると、キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外では解除できません。

## ■盗難警報装置を監視状態（警報が作動する状態）にするには

エンジンスイッチを OFF (LOCK) にして、全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクを閉めます。以下の操作で施錠すると約30秒の待機時間（監視を行わない状態）の後、監視状態に入ります。


- ドアハンドルのタッチセンサーに触れる、またはリヤゲートのリクエストスイッチを押す
  - アクセスキーの  ボタンまたはリモコンキーの  ボタンを押す
- 監視状態に入るとメーター内のセキュリティ表示灯  が 2 回連続の点滅を繰り返します。この方法以外（キーによる施錠、車内からキーを使わず施錠）では盗難警報装置は監視状態に入りません。

☆2-21ページ参照

## ●4ドア


トランクを開けたままで施錠した場合は、監視状態にはなりません。

トランクを閉めてから約30秒待機状態の後、監視状態に入ります。

また、盗難警報装置を作動させた状態で、リクエストスイッチやアクセスキーまたはリモコンキーの  ボタンでトランクを開けた場合、監視状態から待機状態へ切り替わります。トランクを閉めると約30秒待機状態の後、監視状態へ戻ります。



### アドバイス

- 待機状態中は、セキュリティ表示灯  がすばやく点滅します。
- 30秒の待機状態中に次のことを行った場合、監視状態には移りません。
  - － キーレスエントリーでドアを解錠したとき
  - － いずれかのドア（リヤゲートも含む）を開けたとき
  - － アクセスキーを携帯しプッシュエンジンスイッチを押して ACC にしたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
  - － エンジンスイッチをONにしたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）
- 30秒の待機時間のあり/なしの設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照


- 自動施錠の機能が作動した場合にも盗難警報装置が監視状態に移ります。



☆2-12、2-18ページ参照

- 監視状態のままバッテリーが上がったときは、キーレスエントリーでは解錠できません。キーまたはメカニカルキーを使用して解錠してください。ただしバッテリーを充電、もしくは新品に交換した際に監視状態で復帰するため、ドアを開けたままにしておいたり、そのままドアを開けると警報が作動します。
- キーレスアクセス機能や電波式リモコンドアロックによる施錠や自動施錠時、ドアを施錠動作の直前で開くと警報が鳴り始める場合があります。



## ■盗難警報装置の監視状態を解除するには

以下の操作で解錠すると監視状態が解除されます。解除されるとメーター内のセキュリティ表示灯はゆっくり点滅（イモビライザー装備車）または消灯（イモビライザー装備車以外）します。

- アクセスキーのボタンやリヤゲートのオープナースイッチを押す、またはドアハンドルを握る（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- リモコンキーのボタンを押す（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

### アドバイス

ドアのキーシリンダーにキーまたはメカニカルキーを差して解錠、もしくは車内からキーを使わず解錠した場合、盗難警報装置は解除されません。そのままドアを開けてしまうと警報が作動します。

☆2-21ページ参照

## ■警報を作動させてしまったときには

以下のいずれかの操作をすると解除できます。

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装備車

- アクセスキーのいずれかのボタンを押す
- アクセスキーを携帯しプッシュエンジンスイッチを押してACCにする

### アドバイス

アクセスキーの電池残量が少なくなった場合は、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに近づけてACCにしてください。

☆8-73ページ参照


### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外

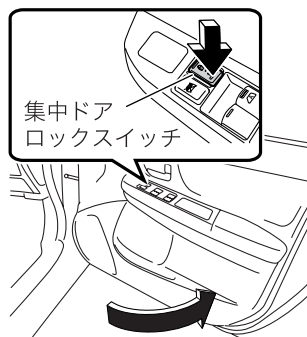
- リモコンキーのいずれかのボタンを押す
- エンジンスイッチにキーを差し込み、エンジンスイッチをONにする

## ■警報の設定

盗難警報装置は作動あり/作動なしの設定を切り替えることができます。  
以下の方法で切り替えます。

### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装備車



- ① 運転席に座り、全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクが閉まっていることを確認します。
- ② プッシュエンジンスイッチを押してON（エンジンがかかっていない状態）にします。
- ③ 運転席ドアを開けると同時に集中ドアロックスイッチの（解錠）を押し、10秒間保持すると設定が切り替わります。



202152

- ④ 設定が切り替わるとホーンが鳴り、新しい設定がメーターに表示されます。  
警報設定あり：ホーンが1回鳴ります。  
メーター表示 “AL on”  
警報設定なし：ホーンが2回鳴ります。  
メーター表示 “AL oF”


### ●キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外

- ① 運転席に座り、全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクが閉まっていることを確認します。
- ② エンジンスイッチのOFF→ONを10秒以内に3回繰り返し、ONで止めます。
- ③ ②の後、10秒以内に運転席ドアを一旦開けて、ドアを閉めます。
- ④ 現在の設定がメーターに表示されます。  
警報設定なし：メーター表示 “AL oF”  
警報設定あり：メーター表示 “AL on”
- ⑤ ④の後、10秒以内に集中ドアロックスイッチを下記のように操作すると、設定が切り替わります。  
警報を設定する：集中ドアロックスイッチの（施錠）を3回押します。  
警報を解除する：集中ドアロックスイッチの（解錠）を3回押します。
- ⑥ 新しい設定に切り替わるとブザーが鳴り、新しい設定がメーターに表示されます。

### アドバイス

この設定は、スバル販売店でもできます。  
☆1-2ページ参照

## ■警報の作動履歴

メーター内のセキュリティ表示灯が点滅して、警報が作動したことを運転者に知らせます。警報が作動した原因により点滅の回数が変わります。

- エンジンスイッチをONにしたとき1秒間点灯した後に、以下の点滅で運転者に知らせます。
  - ドア（リヤゲートを含む）が開けられた場合：5回
  - トランクが開けられた場合：4回
  - 強い衝撃を受けたとき、または衝撃を何回も受けたとき：2回  
（ディーラーオプションの衝撃センサー装備車のみ）
  - 弱い衝撃を受けたとき：1回  
（ディーラーオプションの衝撃センサー装備車のみ）



### アドバイス

警報の作動履歴は、盗難警報装置を再度監視状態にすると消去されます。

## ■衝撃センサー（ディーラーオプション）

ディーラーオプションの衝撃センサーが装備されている場合は、車両に衝撃が加えられたときに警報が作動します。

また、センサーの配線が切断した場合にも警報が作動します。

軽い衝撃を受けたときは、短時間のホーンと非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅による警告、強い衝撃、または衝撃を何回も受けたときは約30秒間のホーン音と非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅による警報が作動します。



### アドバイス

- 衝撃センサーは必ずしも全ての破壊行為に対して検知できるものではありません。また、振動が加わらないような破壊行為の場合（脱出用具によるガラス破壊など）は、本センサーでは検知できません。
- また、下記などの振動が車両に加わった場合、警報が鳴る可能性がありますので駐車する場所に応じて警報、衝撃センサーの設定を行ってください。
  - 例) 工事現場からの振動
    - 立体駐車場の振動
    - 電車通過による振動
    - フェリー乗船中の駐車時の振動
    - など
- 衝撃センサーの取り付け・取り外しは、特殊な設定が必要になります。スバル販売店にお申し付けください。
- 衝撃センサーをスバル販売店以外で取り外した場合、センサーの配線が切断されたと判断し、警報が作動します。取り外しはスバル販売店にお申し付けください。
- スバル純正リモコンエンジンスターターでエンジンをかけている間は衝撃センサーの機能は停止します。

## ■ その他の機能

### ● ルームランプ点灯

ルームランプのスイッチがDOOR位置にあるとき、警報が作動するとルームランプが点灯します。

この機能の初期設定は作動なしとなっています。この機能を使用する場合、ルームランプの設定を作動ありに設定してください。

### ● ユーザーカスタマイズ機能

スバル販売店で次の機能の設定を変更することができます。

- 30秒の待機時間のあり/なし
- ルームランプ点灯の作動あり/作動なし
- 衝撃センサーの作動あり/作動なしおよび感度の設定

☆1-2ページ参照

## シート

## 正しい運転（乗車）姿勢

無理のない、正しい運転（乗車）姿勢がとれるようにシートを調整します。ミラーも調整します。そしてシートベルトを正しく装着します。

☆2-58ページ参照

ハンドル操作が  
楽にできること  
(運転席)

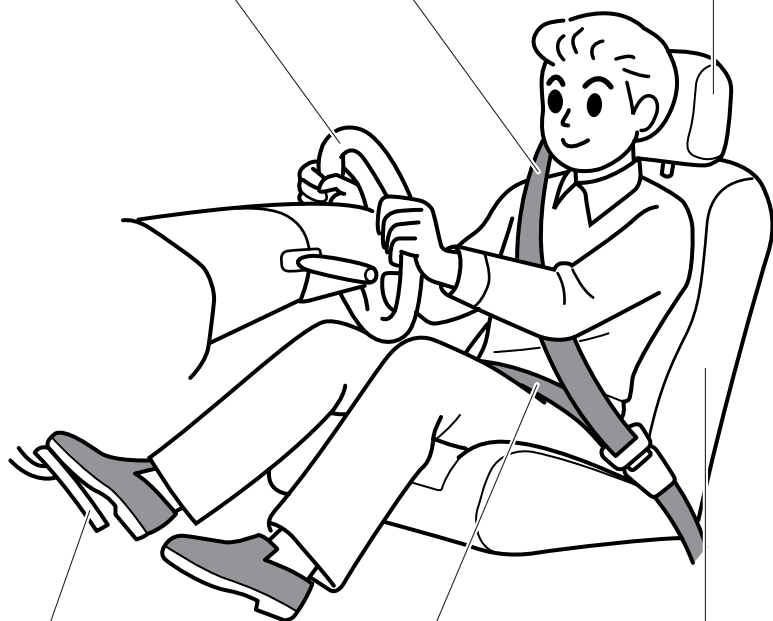
ねじれ、たるみがなく  
肩に充分かかること

ヘッドレストの中央が耳の後方にくること  
(フロントヘッドレストのみ)

ペダルが充分に  
踏み込めること  
(運転席)

腰骨のできるだけ  
低い位置に密着さ  
せること


背当てではできるだけ立てて背中を  
離さず、深く腰掛けること  
(ハンドルに近づき過ぎないこと)



 **警告**

シートなどを調整するときは、次の事項を必ず守ってください。重大な傷害につながるおそれがあります。

- シート調整は、必ず走行を始める前に行ってください。とくに運転席の調整は運転中に行わないでください。加速、減速でシートが動いてペダルに足が届かなくなる、背当てが倒れてハンドルに手が届かなくなる、運転への注意がそれて運転ミスを起こすなどの重大な事故や傷害につながるおそれがあります。
- シートを調整した後はシートを軽くゆさぶり「確実に固定されていること」を確かめてください。不完全なままではシートが動いたり、シートベルトの機能が十分に働かないことがあります。
- 走行中は助手席も含めて背当てを必要以上に倒さないでください。万一のとき、シートベルト本来の機能が発揮されないことがあります。
- 背当てと背中の中にクッションなどを入れしないでください。正しい運転姿勢がとれないため危険です。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物が挟まってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヘッドレストを外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。前席ヘッドレストは、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。後席ヘッドレストは、格納位置から一段上げた位置で使用してください。

 **注意**

シートの調整は必ず大人が行い、シートや動いている部分に手などを近づけないようにしてください。また、同乗者や荷物にも注意してシート調整を行ってください。手などを挟まれたり、荷物が損傷したりすることがあります。

 **アドバイス**

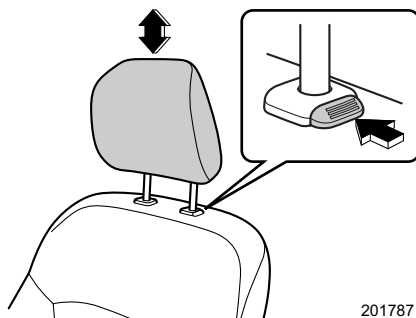
納車時のシートダストカバー（シート汚れ防止用のポリエチレン製カバー）やフロアマットの汚れ防止フィルムは取り外してから使用してください。

## フロントシート

### ■ヘッドレスト

#### ●高さ調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定解除ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押したまま引き抜きます。



201787

#### ⚠ 警告

ヘッドレストは確実に取り付けてください。  
外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。  
ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

#### 🏠 アドバイス

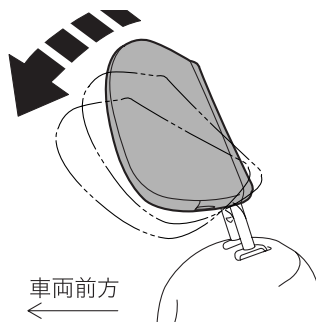
ヘッドレストが天井に当たって取り外しにくいときは、背当てを倒すと取り外せます。

#### ●角度調整

ヘッドレストの角度を段階的に調整することができます。

ヘッドレストを前方いっぱい倒して、手を離すと自動的に一番後ろの位置に戻ります。

調整後、ヘッドレストが後方にロックされていることを確認してください。



202403

**警告**

- ヘッドレストの角度調整は、走行中行わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 前席に乗員がいるときヘッドレストを後ろ側から押すと、角度が変わり思わぬけがをするおそれがあります。絶対に押さないでください。

**注意**

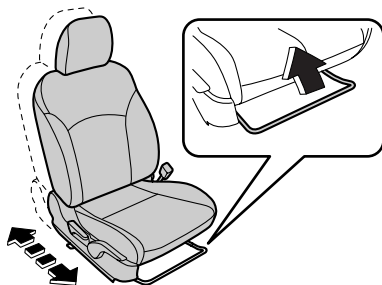
ヘッドレストに物を引っかけたり、つかまったりしないでください。十分な効果が発揮できなかつたり、故障につながるおそれがあります。

**■ マニュアルシート**

シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

**● スライド調整（前後の調整）**

下部のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。



202096

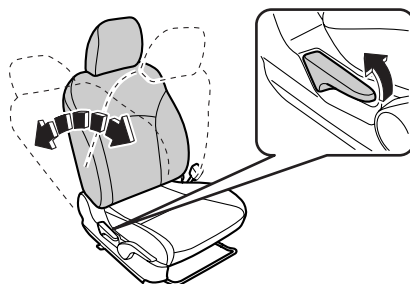
**注意**

後方にスライドする際には、後席の乗員の足が挟まれないように注意してください。



## ●リクライニング調整（背当て角度の調整）

レバーを完全に引き上げた状態で背当ての角度を調整します。レバーを下ろし、ロックを確認します。



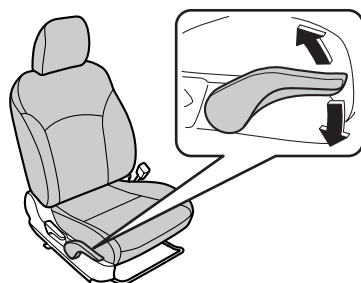
202097

### ⚠ 注意

- 調整する際には、レバーとレバーカバー内に指を挟まないよう気をつけてください。
- 背当てをを起こすときは、背当てを押さえながらゆっくりと戻してください。背当てが急に戻り、顔や身体にけがをするおそれがあります。

## ●上下調整（運転席のみ）

レバーを引くたびに上がります。また、押すたびに下がります。



202098

## ■パワーシート

シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

### ⚠ 注意

操作するときはスイッチ部に異物を挟まないようにご注意ください。走行中、予期しないときに動くことがあります。

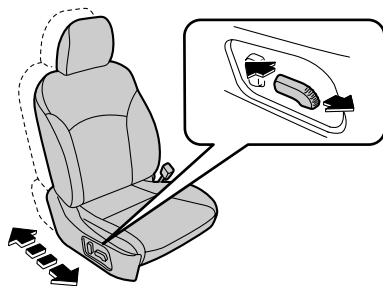
### 🏠 アドバイス

エンジンがかかっているときに調整してください。バッテリー上がりの原因となります。

- 操作するときは背当てに過度な力を加えないでください。故障の原因になります。
- 操作するときは調整できる終点まで移動させたときにスイッチを押し続けしないでください。故障の原因になります。
- シートが人や物に当たった場合、それ以上無理に操作しないでください。故障の原因になります。

## ●スライド調整（前後の調整）

スイッチ全体を前後に動かして調整します。



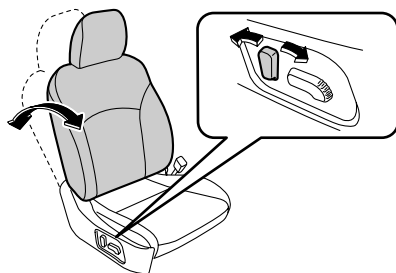
202099

### ⚠ 注意

後方にスライドする際には、後席の乗員の足が挟まれないように注意してください。

## ●リクライニング調整（背当て角度の調整）

リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。



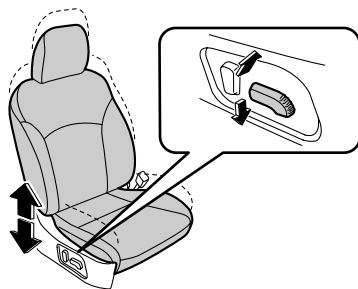
202100

### 🏠 アドバイス

リクライニング調整中は、リクライニング調整と他の調整を同時に行わないでください。

## ●上下調整

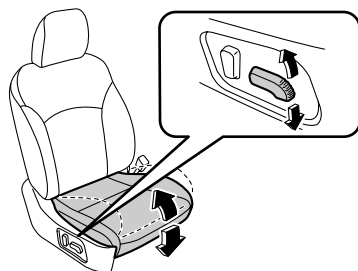
スイッチの後ろ側を上下に動かしてシートの高さを調整します。



202101

## ●座面前側の高さ調整

スイッチの前側を上下に動かして前側の高さを調整します。



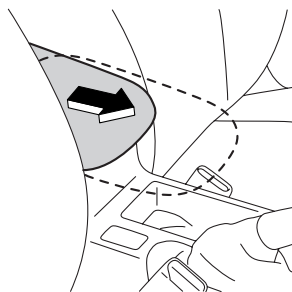
202102

## ■アームレスト

コンソールボックスと一体のフロントアームレストです。

### ●前後位置の調整

アームレスト上部を前方にスライドできます。



401490



### 注意

アームレストの上に乗ったり、重い物をのせたりしないでください。アームレストの損傷や思わぬけがをすることがあります。



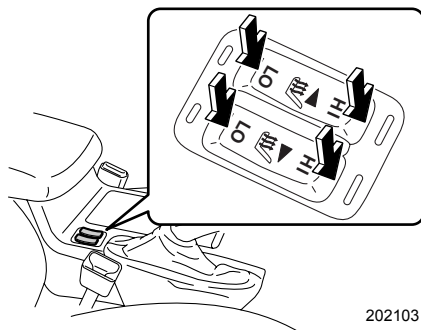
### アドバイス

スライド可動機構装備車は、アームレストが確実に固定されていることを確認してください。

## ■シートヒーター

エンジンスイッチが ACC または ON のとき、スイッチを押すとシートが暖まります。作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。停止させるときは、スイッチを水平にします。

**HIGH**：早く暖めたいときに使います。暖まったらLOWにしてください。  
**LOW**：保温するときに使います。通常はこの位置で使用してください。



202103

運転する前に

### ⚠ 注意

- 長時間使い続けるとやけどの原因になることがあります。お子さま、皮ふの弱い方、体の不自由な方などは注意してください。
- 毛布や座ぶとんなどをのせて使用しないでください。
- 水、ジュースなどをこぼしたときは、乾いた布ですぐに拭き取り、充分乾かしてから使用してください。

### 🏠 アドバイス

- エンジンがかかっているときに使用してください。バッテリー上がりの原因となります。
- シートに硬い物や突起のある物をのせないでください。

## リヤシート

### ■ヘッドレスト

使用するときには、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。



格納位置



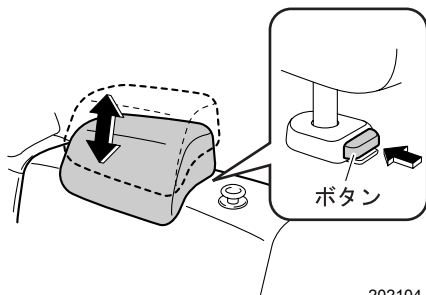
使用位置

202266

### ●高さ調整

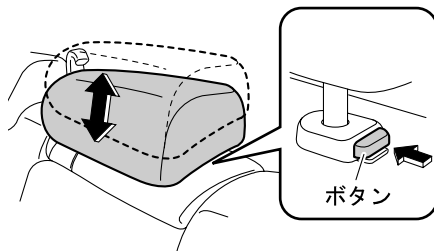
- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは固定解除ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外すときは固定解除ボタンを押したまま引き抜きます。

#### <左右席用>



202104

#### <中央席用>



202105

### ⚠ 警告

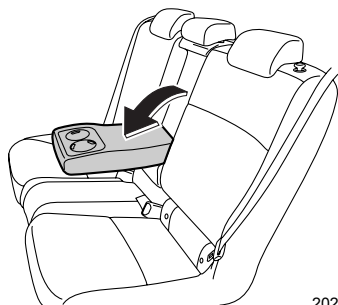
ヘッドレストは確実に取り付けてください。  
外したり、固定できる高さを超えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。

### 🏠 アドバイス

乗員がいないときは下げておくと、後方視界が良くなります。

## ■アームレスト

引き出して、ひじ掛けとして使います。



202106

### ⚠ 警告

アームレストを使用するときはシートベルトの効果を発揮させるため、次の手順を必ず守り、正しく装着してください。

- ①最初にシートベルトを装着する。
- ②次にアームレストを下ろす。

先にアームレストを下ろしてからシートベルトを着用すると、衝突時に腹部に当たり重大な傷害につながるおそれがあります。

### ⚠ 注意

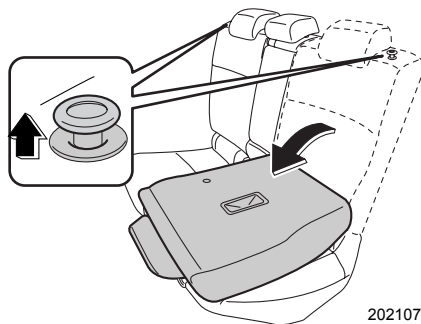
アームレストを使うとき上に乗ったり、重い物をのせないでください。アームレストが損傷したり、思わぬけがをすることがあります。

## ■6：4分割リヤシートの背当てを倒し、荷室として使うとき

リヤシートの背当てを倒すことにより、荷室として広く使うことができます。背当ては左右に分割されているシートをそれぞれ倒すことができます。

### ●背当てを倒すとき

背当て上方にあるロックノブを引き上げながら背当てを倒します。

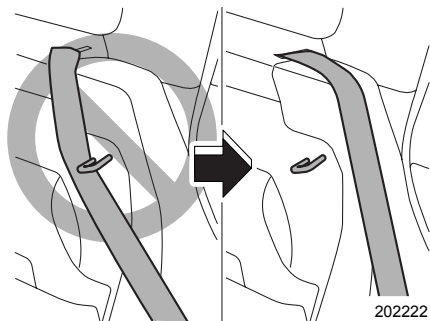
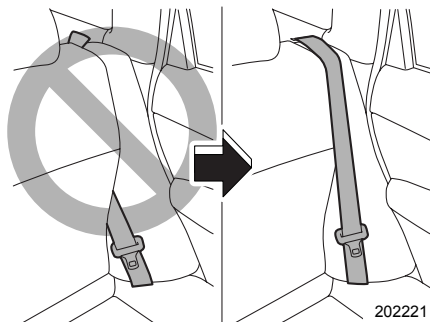


### ●背当てを元に戻すとき

背当てを起こし、確実にロックします。

#### 警告

- 背当てを元に戻すときは、シートベルトが背当てに挟まれていたり、背当て固定フックの裏側に回り込んでいないか必ず確認してください。シートベルトが背当てに挟まれていたり、背当ての裏側に回り込んでいるとシートベルトが着用できない、または衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

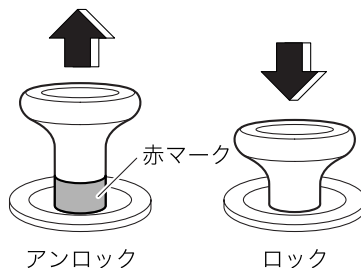




- 背当てを倒して荷室として使用する場合は、お子さまも含めて走行中、人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けることがあります。
- 荷物や長い物をのせたときは、荷物を固定してください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し重大な傷害を受けることがあります。

☆2-46ページの注意事項もお守りください。

- 背当てを元に戻したときは、ロックノブの赤マークが見えないことを確認してください。また、背当てを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背当てが倒れたり、荷室内の物が飛び出すなど思わぬ事故につながり重大な傷害につながるおそれがあります。



202220

### ⚠ 注意

- チャイルドシートを取り付けているときは、背当てを倒さないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背当てを倒すとき、中央席のシートベルトを格納してください(5ドアのみ)。

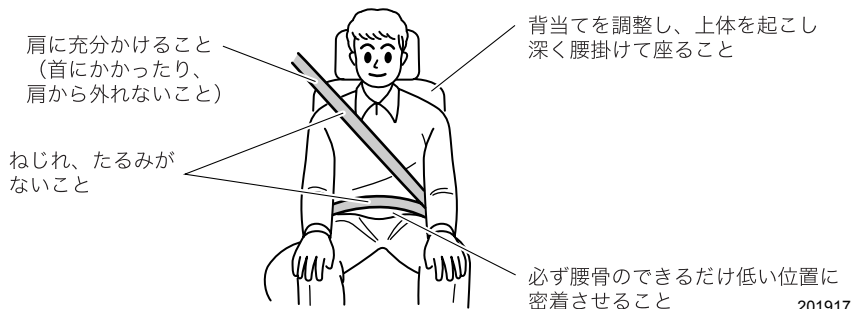
### 🏠 アドバイス

上り坂などで背当てが倒れないときは、手で倒してください。

# シートベルト

## シートベルトの正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



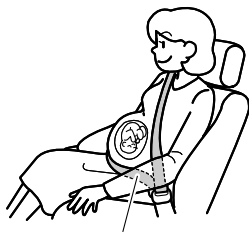
### 警告

シートベルトの着用は、次の事項を必ず守ってください。重大な傷害につながるおそれがあります。

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは一人用です。二人以上で一本のベルトを使用しないでください。
- シートベルトはねじれたり、裏返しにならないように使用してください。ねじれたり裏返しになっているとベルトの幅が狭くなったり、局部的に強い力を受けて万一のとき危険です。
- シートベルトは腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。柔らかい腹部にかけた場合は万一のとき強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 肩ベルトは脇の下を通さずに確実に肩にかけてください。肩に充分にかかっていないと上半身が拘束されず十分な効果を発揮しません。
- シートベルトは上体を起こし、シートに深く腰掛けた状態で着用してください。正しい姿勢については「正しい運転（乗車）姿勢」（2-45ページ）をご覧ください。
- シートの背当てを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。
- シートベルトを洗濯バサミやクリップなどでたるませないでください。十分な効果を発揮しません。


**警告**

- 妊娠中の方や疾患のある方も、万一のときに備えシートベルトを着用してください。局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。肩ベルトは確実に肩に通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



腰骨のできるだけ低い位置



胸部にかかるとように

201918

- シートベルトのバックルに異物が入らないようにしてください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらなくなり、走行中に外れる場合があります。
- お子さまは後席に乗せてください。
- お子さまもシートベルトを必ず着用させてください。膝の上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに充分支えることができず、お子さまへの重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまでシートベルトを着用したときベルトが首、あご、顔などに当たるお子さまはスバル純正チャイルドシート（別売）を使用してください。万一のとき、ベルトによる負傷を防ぎます。スバル純正チャイルドシートの使用方法はチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

**警告**

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくにシートベルトを体に巻きつけて遊んだりすると、窒息などの重大な傷害につながるおそれがあります。万一、シートベルトが体に巻きついて外せなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。
- シートベルトにほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。また、装着した状態で万一事故にあった場合は、外観に異常がなくても必ずスバル販売店で交換してください。そのまま使用すると正常に働かず、十分な効果を発揮しません。
- シートベルトの改造や取り外しなどはしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で拭いてください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤や漂白剤はシートベルトを弱めるため絶対に使用しないでください。



200364

**注意**

炎天下に長時間駐車し、室内が高温になっている場合は、金属部分を持たずに、樹脂部分を持ってシートベルトを着用してください。シートベルトの金属部が熱くなっている場合があり、やけどにつながるおそれがあります。

## フロントシートベルト

シートベルトは、身体の動きに合わせて自由に巻き取り、引き出しができますが、強い衝撃を受けたときやベルトを急激に引き出そうとすると、ベルトが自動的にロックされます(ELR機構)。

### ■3点式シートベルト

#### ●着用のしかた

- ① タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



201919

- ② ベルトがねじれないようにし、タングプレートをバックルの中へ、“カチッ”と音がするまで差し込みます。



201920

- ③ 正しい姿勢で腰掛け、腰のベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



201921

## ●外すとき

外すときはバックルの「PRESS」ボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



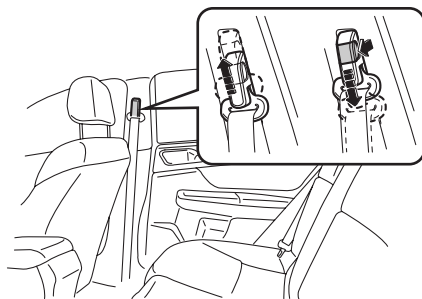
### アドバイス

- ベルトが首に当たったり、肩から外れて腕にかかってしまうときは、ショルダーアジャスターでベルトの高さを調整します。
- ベルトが引き出せないときはベルトをゆるめてもう一度ゆっくり引き出します。  
それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

## ■シートベルトの高さ調整（ショルダーアジャスター）

座高に合わせてシートベルトの位置を調整できます。

- ① 上げるときはショルダーアジャスター本体を上動かします。下げるときはノブを引きながらショルダーアジャスターを動かして最適な位置を選びます。
- ② ショルダーアジャスターが固定されていることを確認します。



202108



### 警告

ショルダーアジャスターを調整するときは、次のことをお守りください。守らないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- シートベルトが首に当たらないように、また、肩の中央に充分かかるようにできるだけ高い位置に調整してください。
- 調整した後は、確実に固定されていることを確認してください。



### アドバイス

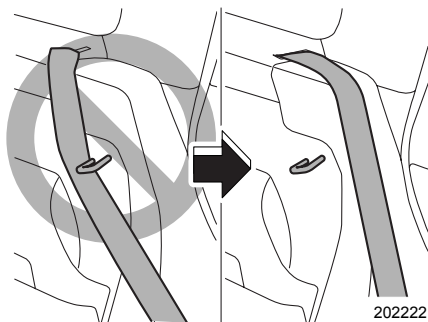
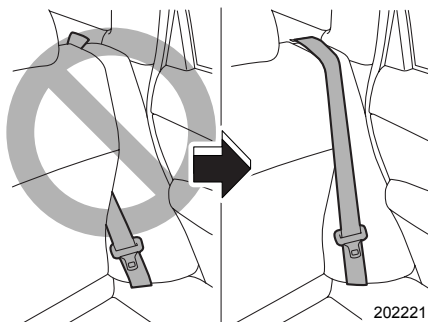
アジャスターが上がらない場合、ベルトが引き出せず固定された状態になっている場合があります。ベルトが引き出せる状態にしてから、アジャスターを操作してください。

## リヤシートベルト

3点式シートベルトが3名分装備されています。5ドア車の中央席には、格納できる3点式シートベルトが装備されています。

### 警告

- リヤシートベルトを使用する前に、シートベルトが背当てに挟まれていたり、背当て固定フックの裏側に回り込んでいないか必ず確認してください。シートベルトが背当てに挟まれていたり、背当ての裏側に回り込んでいるとシートベルトが着用できない、または衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。



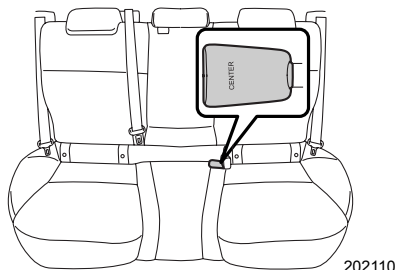
## ■外側席用シートベルト

フロントシートベルトと同じ方法で着用および外します。  
☆2-61ページ参照

## ■中央席用シートベルト（4ドア）

フロントシートベルトと同じ方法で着用および外します。このとき、必ず中央席用のバックルを使用してください。バックルには「CENTER」印があります。

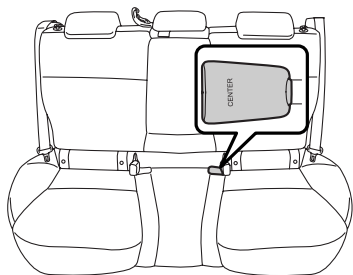
☆2-61ページ参照



202110

## ■中央席用シートベルト（5ドア）

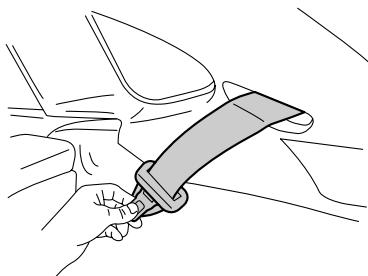
必ず中央席用のシートベルトを使ってください。中央席用バックルには「CENTER」印があります。



202111

## ●着用するとき

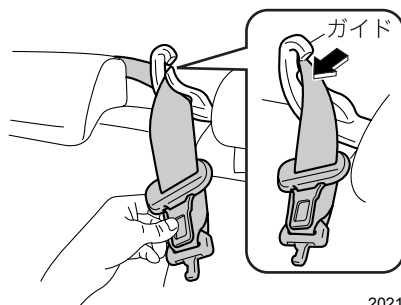
- ① カーゴルームの格納ホルダーからシートベルトを引き出します。



202112

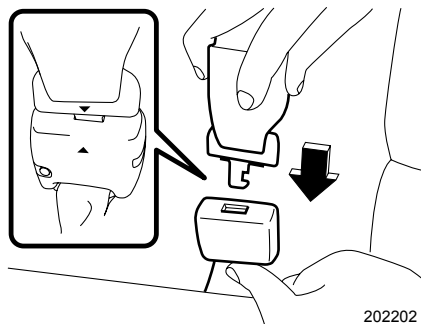


- ② シートベルトを背当てのガイドに通します。



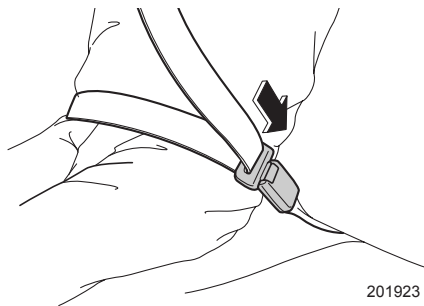
202113

- ③ 右側の小さいバックルとコネクターを▲マークが付いている面を合わせて結合します。



202202

- ④ フロント 3 点式シートベルトと同じ要領で着用します。



201923

**警告**

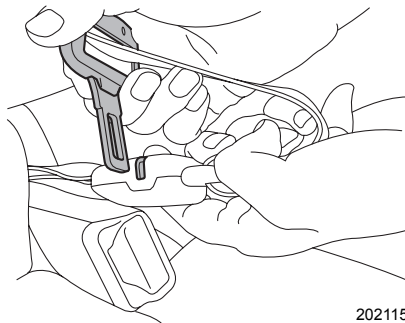
コネクターを結合しないで使用すると重大な傷害につながるおそれがあります。必ず結合してから着用してください。



202156

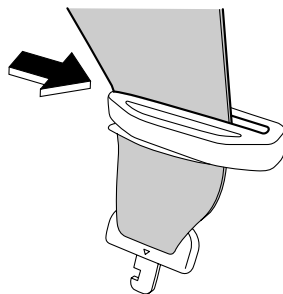
## ●格納するとき

- ①バックルの「PRESS」ボタンを押します。
- ②小さいバックルの解除ボタンをタングプレートなどを使って押し、コネクターと分離します。



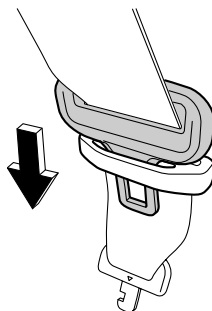
202115

- ③図のようにシートベルトをカーゴルームにある格納ホルダーの溝に差し込みます。



202187

- ④図のようにシートベルトをカーゴルームにある格納ホルダーの溝に差し込み、タングプレートを格納ホルダーに差し込み固定します。



202116

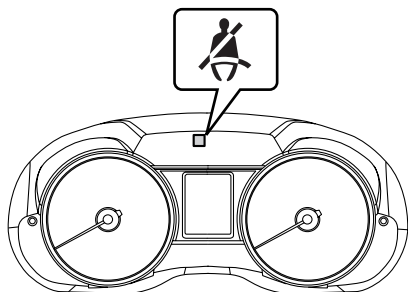
### ⚠ 注意

- 使用しないときは、シートベルトを格納しておいてください。
- シートベルトの脱着時には、隣の乗員に金具が当たらないように気をつけてください。
- 巻き取りが早いので、コネクターを分離するときはシートベルトを手で持ってください。急に巻き取らせないように気をつけてください。

## シートベルト警報

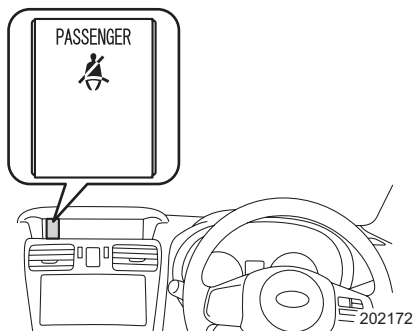
エンジンスイッチがONで運転席のシートベルトが未着用の場合、メーター内の警告灯が点灯します。また、助手席（乗員がいるとき）および後席のシートベルトが未着用の場合、インストルメントパネル内の警告灯が点灯します。シートベルトを着用すると警告灯は消灯します。シートベルトを着用せずに走行すると警告灯が点滅または点灯し、ブザーが鳴ります。

### 運転席（メーター内）



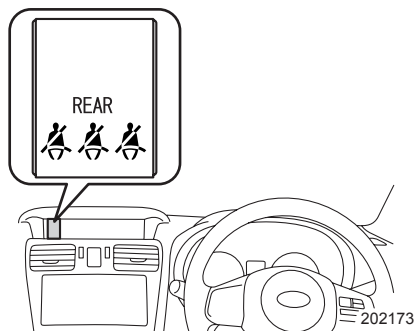
202109

### 助手席（インストルメントパネル内）



202172

### 後席（インストルメントパネル内）



202173

## ■運転席・助手席

エンジンスイッチがONで運転席、助手席（乗員がいるとき）いずれかのシートベルトが未着用の場合、メーターおよびインストルメントパネル内の警告灯が点灯します。シートベルトを着用すると消灯します。

シートベルト未着用のまま車速約20 km/h以上で走行すると警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。このとき車速が約20km/h以下になっても、警告灯の点灯とブザー吹鳴は、シートベルトを着用するまで約2分間続きます。

約2分間経過してもシートベルト未着用の場合、警告灯が点滅から点灯に切り替わり、ブザーは停止します。警告灯はシートベルトを着用するまで点灯します。

 **警告**

- 助手席の下に靴や傘などの物を置かないでください。
- 助手席に強い衝撃を与えないでください。
- 助手席に液体をこぼさないでください。液体をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
- 助手席を取り外したり、分解しないでください。


 **アドバイス**

助手席に乗員がいない場合でも、座面に荷物などを置いたとき、センサーが感知して警告灯が点灯することがあります。

■ **後席**

エンジンスイッチがONで後席シートベルトが未着用するとき、インストルメントパネル内の警告灯が点灯します。シートベルトを着用する、または走行してから約30秒経過すると消灯します。

走行中、シートベルトを外すと警告灯が点灯し、ブザーが鳴ります。ブザーはシートベルトを着用するまで約30秒間続きます。

 **アドバイス**

次の場合、後席に乗員がいなくても警告灯が点灯することがあります。

- リヤドアを開閉したとき。
- リヤドアを開閉してから30分以内にエンジンスイッチをONにしたとき。
- エンジンスイッチをLOCK (OFF) またはACCにしてから約30分以内にエンジンスイッチをONにしたとき。

警告灯が点灯したときは、次の操作を行うと警告灯は消灯します。

- 後席シートベルトを着用する（シートベルトのタングプレートをバックルに挿入する）。
- 車速約10km/h以上で30秒以上走行する。

# お子さまの安全

## チャイルドシート

お子さまが乗車するときは、チャイルドシートを正しく使用し安全を確保してください。

### ■知っておいていただきたいこと

- お子さまの年齢や体格に合わせ、適切なチャイルドシートを選んでください。
- チャイルドシートの取り付け方法および取り外し方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。
- この車は、2006年10月1日施行の保安基準に適合したISO FIX固定バーを標準装備しています。

### ■チャイルドシートの種類

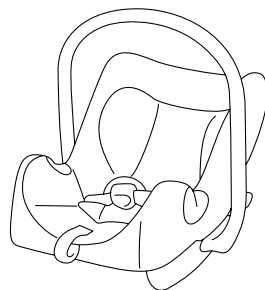
ECE R44※の基準に適合するチャイルドシートは、お子さまの体重によって次の5つの質量グループに分類されます。

- グループ0 : ~10kg
- グループ0+ : ~13kg
- グループⅠ : 9~18kg
- グループⅡ : 15~25kg
- グループⅢ : 22~36kg

※ECE R44は、チャイルドシートに関する国際的な安全基準です。

スバル純正チャイルドシートは、次のカテゴリーの商品をご用意しています。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

- ベビーシート
  - － 体重の目安：~13kg
  - 新保安基準の質量グループ0および0+に適合しています。



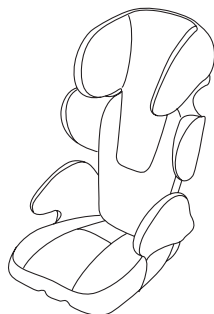
202021

- チャイルドシート
  - － 体重の目安：9~18kg
  - 新保安基準の質量グループ0、0+ およびⅠに適合しています。



201937

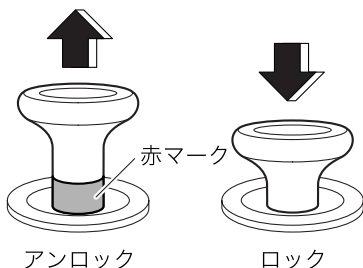
- ジュニアシート（ベルト固定専用）
    - － 体重の目安：15～36kg
    - － 年齢の目安：3～12歳
- 新保安基準の質量グループⅡおよびⅢに適合しています。



202402

**警告**

- 背当てが確実にロックされているか、ロックノブの赤マークが見えないことを確認してください。また、背当てを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背当てが倒れたり、荷室内の物が飛び出すなど思わぬ事故につながり重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。
- チャイルドシートは、お子さまの年齢や体格に合ったものをご使用ください。
- チャイルドシートは後席の外側席に取り付けてください。
- 助手席にチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。



202220

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくにシートベルトを体に巻きつけて遊んだりすると、窒息などの重大な傷害につながるおそれがあります。万一、シートベルトが体に巻きついて外せなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



200364

- チャイルドシートは、お子さまを乗せていないときでもしっかりとシートに固定しておいてください。また、荷室に収納する場合でも、ロープなどを利用して固定してください。固定しないまま客室または荷室に放置すると、ブレーキをかけたときなどにチャイルドシートが動き乗員や物に当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に



### アドバイス

お子さまに最適なチャイルドシートについては、スバル販売店、チャイルドシート製造業者または販売店にご相談ください。

## ISO FIX固定バー方式で固定するチャイルドシートについて

後席の外側席には、乳児用（ベビー）／幼児用（チャイルド）のスバル純正ISO FIXチャイルドシートを固定するための専用のISO FIX固定バーとテザーアンカーが装備されています。

### ■適合性一覧表（ISO FIX方式での取り付け）

お子さまの体格に合わせ、チャイルドシートを適切にご使用ください。

質量グループ (お子さまの体重)	サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置
			後席外側席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	IL1
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL1
	D	ISO/R2	IL1
	C	ISO/R3	IL1
I (9～18kgまで)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IL2 or IUF
	B1	ISO/F2X	IL2 or IUF
	A	ISO/F3	IL2 or IUF
II (15～25kgまで)	×	×	×
III (22～36kgまで)	×	×	×

#### 記号の説明

IUF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応の前向きチャイルドシートに適しています。

IL1：スバル純正ISO FIXベビーシート

IL2：スバル純正ISO FIXチャイルドシート

×：ISO FIXチャイルドシートを取り付けることはできません。

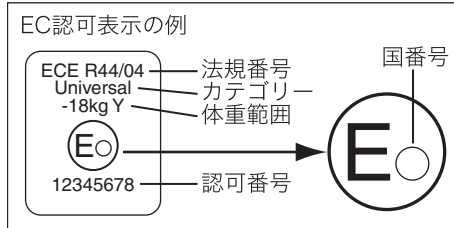


## アドバイス

- チャイルドシートを購入する際は、ISO FIXサイズ等級に一致した商品をお選びください。

サイズ等級	固定具	お子さまの体格	使用の向き	形状、大きさ
A	ISO/F3	幼児	前	大型
B	ISO/F2	幼児	前	中型
B1	ISO/F2X	幼児	前	中型
C	ISO/R3	幼児	後ろ	大型
D	ISO/R2	幼児	後ろ	中型
E	ISO/R1	乳児	後ろ	小型

- 「IUf」のチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書に「UNIVERSAL ISO FIX」と案内があります。



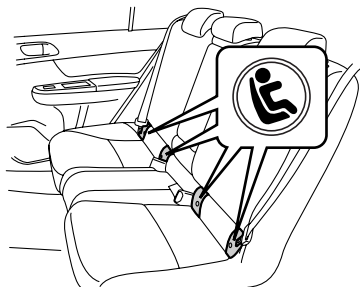
- スバル純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入およびご使用に際してはスバル販売店にご相談ください。

## 警告

- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーまたはサポートレッグをセットで使用してください。  
セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ISO FIXチャイルドシートを取り付ける際は、以下の部分に異物やシートベルトの噛み込みがないことを確認してください。
  - ISO FIX固定バー
  - ベースシートのロック部
  - テザーベルトのフック
 シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。
- 詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。

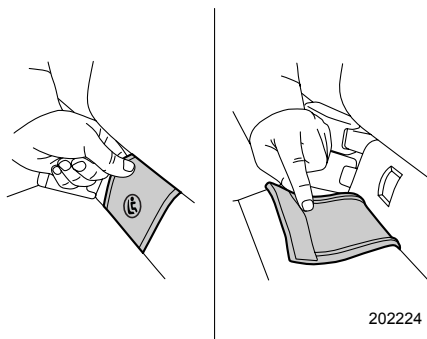
## ■ISO FIX固定バー

背当ての下側のカバーをめくるとあります。  
ISO FIX 固定バーが装備されていることを示す  
マークがカバーについています。



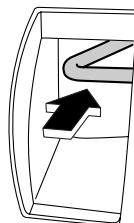
202117

ベビーシートまたはチャイルドシートを取り  
付けるときは、カバーをめくります。



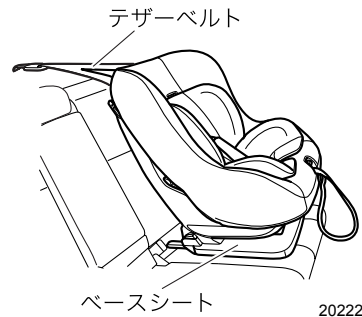
202224

ISO FIX固定バーにベースシートを差し込みます。



201926

ベビーシートまたはチャイルドシートをベースシートに確実に固定します。



 **アドバイス**

ベビーシートおよびチャイルドシートを取り外した後は、ISO FIX 固定バーのカバーを元の状態に戻してください。

運転する前に

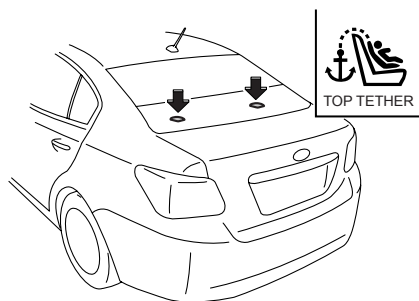
## ■テザーアンカー

### ●4ドア

#### 警告

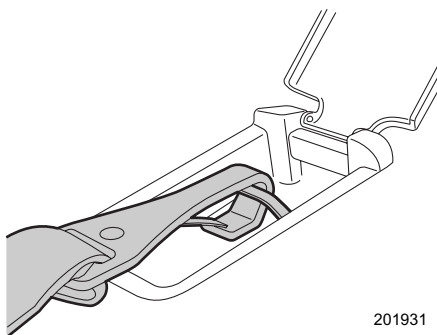
- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時におさまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 詳しくは、ベビーシート（別売）およびチャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。

後席ヘッドレストの後ろ側にあるカバーを開けます。カバーにはテザーアンカーを示すマークがあります。



202118

テザーベルトのフックを、図のようにテザーアンカーに引っかけます。



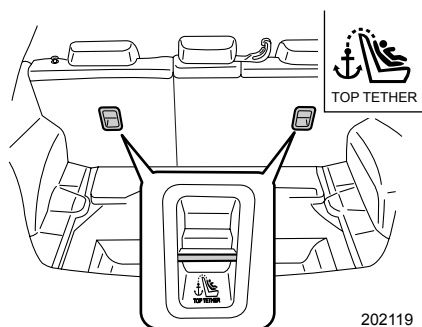
201931

●5ドア

**警告**

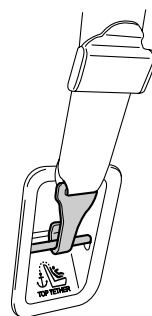
- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。  
セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 詳しくは、ベビーシート（別売）およびチャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。

後席背当て後ろ側にテザーアンカーがあります。



202119

テザーベルトのフックを、図のようにテザーアンカーに引っかけます。



202120

運転する前に

## ■スバル純正ISO FIXベビーシート（テザー式）を後ろ向き（乳児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO FIX ベビーシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

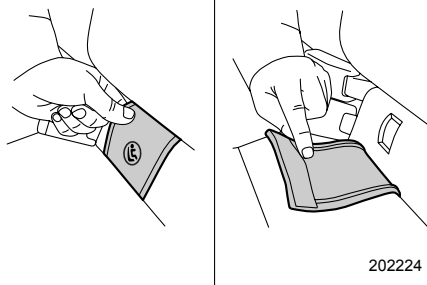
### 警告

- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 詳しくは、ベビーシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ISO FIX ベビーシートを取り付ける際は、ISO FIX 固定バーおよびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。  
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

### 注意

ベビーシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

- ①ヘッドレストを取り外します。
- ②背当ての下部のカバーをめくり、ISO FIX固定バーの位置を確認します。

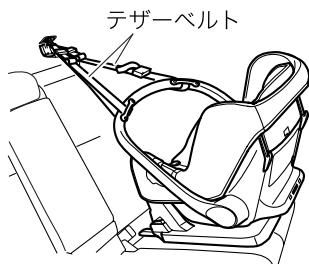


- ③ベースシートをISO FIX固定バーに確実に取り付けます。
- ④ISO FIXベビーシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑤ISO FIXベビーシート（テザー式）を上下左右に軽くゆさぶり、ISO FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。
- ⑥後席ヘッドレスト後ろ側のテザーアンカーカバーを開けます。（4ドア）
- ⑦ISO FIXベビーシート（テザー式）のテザーベルトのフックをテザーアンカーに確実に引っかけます。

☆2-77、2-76ページ参照

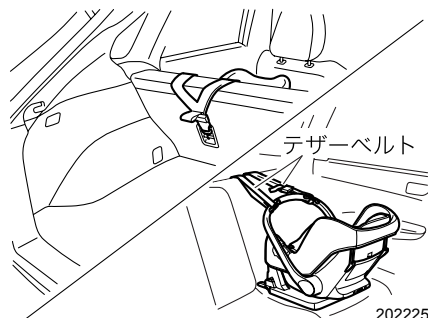
- ⑧ ISO FIX ベビーシート（テザー式）のテザーベルトがピンと張る（5kg 程度）まで強く引っ張って、ベビーシートのハンドルを確実に固定します。
- ⑨ ISO FIX ベビーシート（テザー式）のテザーベルトを軽く引っ張り、テザーアンカーに確実に固定されていることを確認します。

#### 4ドア



202226

#### 5ドア



202225

運転する前に

- ⑩ ベビーシートが確実に固定されていることを前後左右にゆさぶり確認します。

### ■スバル純正ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を前向き（幼児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取り外し方法については、別売のスバル純正 ISO FIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をご覧ください。

#### ⚠ 警告

- 必ずISO FIX固定バーとテザーアンカーをセットで使用してください。セットで使用しない場合には、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ISO FIXチャイルドシートを取り付ける際は、ISO FIX固定バーおよびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。  
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

#### ⚠ 注意

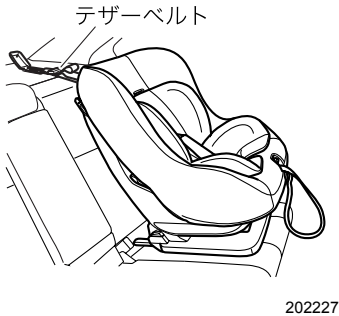
チャイルドシートを取り付ける際に、手を挟まないよう、気をつけてください。

- ① ヘッドレストを取り外します。
- ② 背当て下部のカバーをめくり、ISO FIX固定バーの位置を確認します。
- ③ ベースシートをISO FIX固定バーに確実に取り付けます。
- ④ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）をベースシートに確実に取り付けます。
- ⑤ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）を上下左右に軽くゆさぶり、ISO FIX固定バーに確実に固定されていることを確認します。
- ⑥ 後席ヘッドレスト後る側のテザーアンカーカバーを開けます。（4ドア）
- ⑦ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトのフックをテザーアンカーに確実に引っかけます。

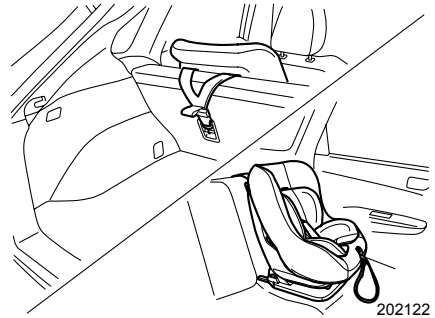
☆2-77、2-76ページ参照

- ⑧ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトがピンと張る（5 kg 程度）まで強く引っ張って、チャイルドシートの上側を確実に固定します。
- ⑨ ISO FIXチャイルドシート（テザー式）のテザーベルトを軽く引っ張り、テザーアンカーに確実に固定されていることを確認します。

#### 4ドア



#### 5ドア



- ⑩ チャイルドシートが確実に固定されていることを前後左右にゆさぶり確認します。



## シートベルトで固定するチャイルドシートについて

### ■チャイルドシートの適合性一覧表(シートベルトを使用して取り付け)

お子さまの体格に合わせ、チャイルドシートを適切にご使用ください。

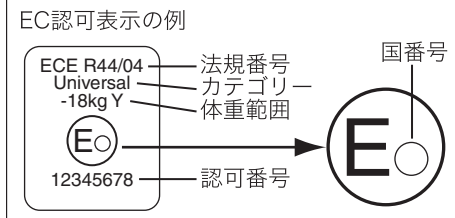
質量グループ (お子さまの体重)	着座位置		
	前席	後席	
	助手席	外側席	中央席
0 (10kgまで)	×	U	×
0 <sup>+</sup> (13kgまで)	×	U	×
I (9~18kgまで)	×	UF	×
II (15~25kgまで)	×	UF	×
III (22~36kgまで)	×	UF	×

#### 記号の説明

- U：この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーのチャイルドシートに適しています。
- UF：この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの前向きのチャイルドシートに適しています。
- ×：チャイルドシートを取り付けることはできません。

### 🏠 アドバイス

- チャイルドシートに関する国際的な安全基準であるECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。
- チャイルドシートを購入する際は、質量グループに一致した商品をお選びください。
- 「U」のチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書に「UNIVERSAL」(汎用)と案内されているものもあります。

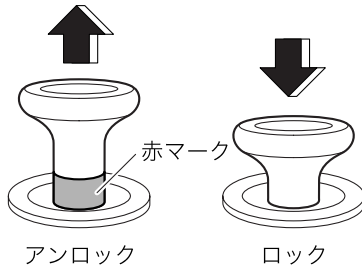


- スバル純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入およびご使用に際してはスバル販売店にご相談ください。

## ■チャイルドシートの取り付け

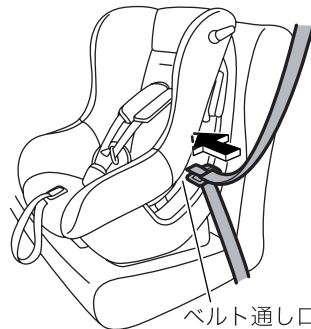
### 警告

- 背当てが確実にロックされているか、ロックノブの赤マークが見えないことを確認してください。また、背当てを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背当てが倒れたり、荷室内の物が飛び出すなど思わぬ事故につながり重大な傷害につながるおそれがあります。
- 取り外したヘッドレストはトランク（4ドア）またはカーゴルーム（5ドア）に収納し、固定してください。ヘッドレストを車内に置いた場合、急停止または急カーブによりヘッドレストが乗員や物に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



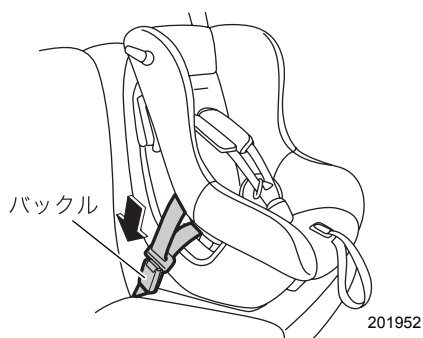
202220

- ① ヘッドレストを取り外します。
- ② チャイルドシートを、後席の外側席にまっすぐに置きます。このとき、チャイルドシート背面と背当ての間にすき間ができないように、チャイルドシートを取り付けます。
- ③ チャイルドシート背面のベルト通し口に、シートベルトをねじれがないように通します。

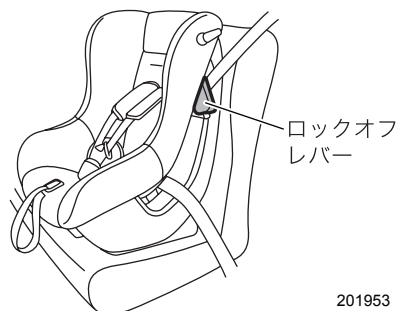


201951

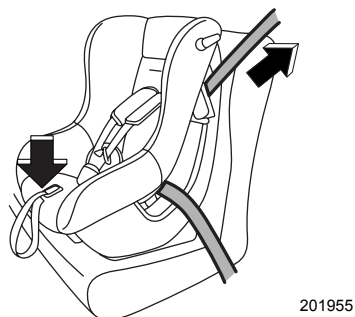
- ④ シートベルトのタンブプレートをバックルの中へ、“カチッ”と音がするまで差し込みます。



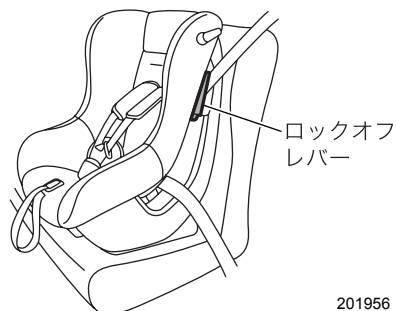
- ⑤ チャイルドシートのロックオフレバーを開き、肩ベルトをロックオフレバーの下に通します。



- ⑥ チャイルドシートに体重をかけて後席に押しつけながら、肩ベルトをたるみがなくなるまで巻き取らせます。



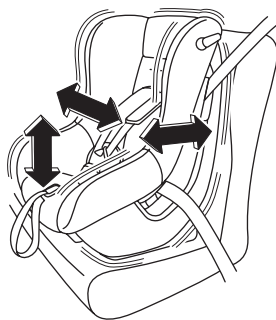
- ⑦ チャイルドシートのロックオフレバーを閉じ、肩ベルトを固定します。



次ページへ ⇒

⇒前ページより

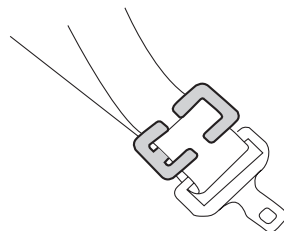
- ⑧ チャイルドシートやシートベルトが確実に固定されていることを前後左右にゆさぶり確認します。



201957

チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロックングクリップを使用して固定します。

取り付け後はチャイルドシートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



202006

## ■解除のしかた

バックルの「PRESS」ボタンを押して、シートベルトを外します。



### アドバイス

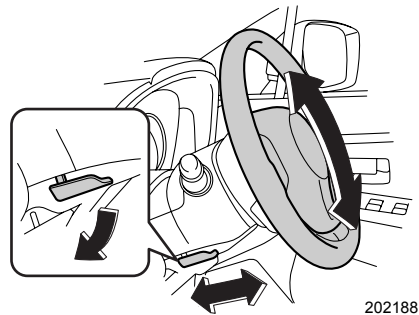
- 詳しい取り付け、取り外し方法については、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ロックングクリップについて、詳しくはスバル販売店にご相談ください。

# ハンドルとミラーの調整

## チルト/テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。

- ① チルト/テレスコピックレバーを引き下げます。
- ② ハンドル位置を合わせます。
- ③ チルト/テレスコピックレバーを押し上げます。
- ④ ハンドルが固定されたことを確かめてください。



202188

### 警告

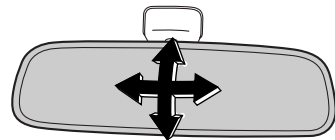
調整は必ず走行前に行ってください。

- 走行中に操作すると、ハンドルが動いて危険です。
- ハンドル位置を調整した後は、確実に固定してください。固定が不十分な場合、ハンドル位置が突然変わり、重大な事故につながる可能性があります。

## ルームミラー

### ■ 上下位置の調整

ミラー本体を動かして後方が充分確認できる位置に調整します。

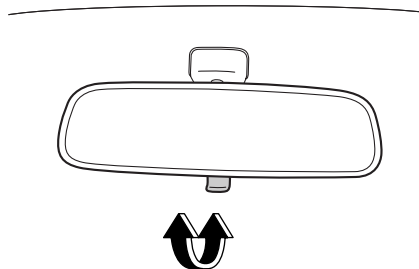


202142

## ■防眩ルームミラー

通常はレバーを前方に押した位置で使います。

夜間走行時、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引きます。ランプの反射を弱くすることができます。



202143



**注意**

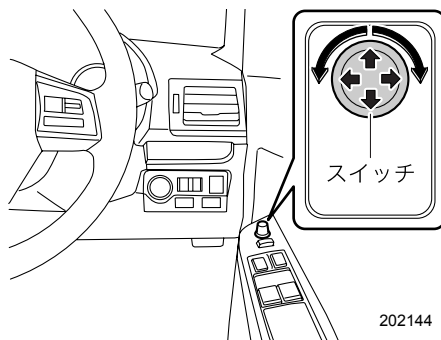
調整は必ず走行前に行ってください。

## ドアミラー

### ■電動リモコンドアミラー

エンジンスイッチがACCまたはONのとき、ミラーの調整ができます。

- ① 調整するミラーを選びます。  
スイッチを調整するミラー側に回して切り替えます。  
「L」：左側ミラー、「R」：右側ミラー
- ② スイッチを上下左右に動かして後方を充分確認できる位置に調整します。



202144

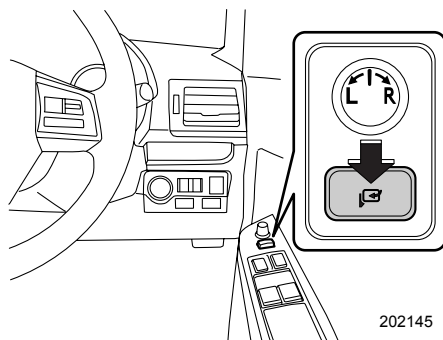


**注意**

調整は必ず走行前に行ってください。

## ■電動格納式ドアミラー

エンジンスイッチがACCまたはONのとき、左右のミラーを同時に格納できます。スイッチを押しこむと格納します。もう一度押すと元に戻ります。



202145



### アドバイス

- 寒冷時は、作動の途中で止まることがあります。その場合はもう一度スイッチを押してください。スイッチを操作しても動かないときは、ドアミラーを手で数回動かすと作動するようになります。
- 格納スイッチを連続して押して「格納⇄元に戻す」を行うと作動しなくなることがあります。これは異常ではありませんので、しばらく待ってから作動させてください。
- 格納状態から手動で元に戻すとドアミラーがグラグラすることがあります。必ず電動で元に戻してください。なお、ドアミラーがグラグラするときは、もう一度格納状態にしてから電動で元に戻してください。

運転する前に

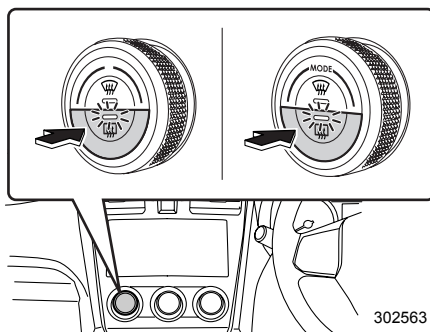
## ■ヒートッドアミラー❧

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

ドアミラーについた霜や曇りを取るときに使います。リヤウインドウデフォグガーに連動して作動します。

- スイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、約15分後、自動的にOFFになります。
- 作動中、途中で止めるときはスイッチをもう一度押します。
- リヤウインドウデフォグガーを連続作動に設定している場合は、連動して作動します。

☆3-21ページ参照



### アドバイス

消費電力が大きいため、連続しての使用や雪などを溶かすような使いかたは避けてください。